

亀山市新庁舎整備基本計画策定に関する コラボレーションプログラム報告書



令和元年 12 月
三重県亀山市

亀山市新庁舎整備基本計画策定に関するコラボレーションプログラム 報告書

目次

1	コラボレーションプログラムの概要	1
1-1	実施趣旨	1
1-2	実施目的	1
1-3	目標（ゴール）	1
1-4	実施概要	2
1-5	実施結果	3
1-5-1	ワークショップの提言	3
1-5-2	コラボレーションプログラムでの意見	4
2	ワークショップ	10
2-1	ワークショップの実施概要（全3回）	10
2-2	第1回ワークショップ	11
2-2-1	実施概要	11
2-2-2	実施内容	12
2-2-3	実施結果（とりまとめ）	20
2-3	第2回ワークショップ	23
2-3-1	実施概要	23
2-3-2	実施内容	24
2-3-3	実施結果（とりまとめ）	30
2-4	第3回ワークショップ	34
2-4-1	実施概要	34
2-4-2	実施内容	35
2-4-3	実施結果（とりまとめ）	43
2-5	参加者アンケートの結果	45
2-5-1	アンケートの概要	45
2-5-2	アンケートの結果	45
3	グループインタビュー	50
3-1	実施概要	50
3-2	実施内容	51
3-2	実施結果（とりまとめ）	63
3-3	インタビューシート集計結果	64

1 コラボレーションプログラムの概要

1-1 実施趣旨

市役所の本庁舎は、老朽化や狭隘化、行政機能の分散化など様々な課題・問題点を抱えています。これら課題・問題点や、新庁舎に求められる機能、建設候補地の抽出条件など、新庁舎建設に市民の皆さんの意見を反映するために、平成30年6～7月に1,200人を対象とした「市民アンケート調査」を実施し、平成31年3月に「亀山市新庁舎建設基本構想」（以下「基本構想」といいます。）を策定しました。

今年度、市民の皆さんが利用しやすい新庁舎の整備に向けて、「亀山市新庁舎整備基本計画」（以下「基本計画」といいます。）の策定にあたって、市民の皆さんの声を直接お聞きしながら、一緒に庁舎について考える「コラボレーションプログラム」を実施しました。

1-2 実施目的

コラボレーションプログラムの目的は次のとおりです。

- ・日頃庁舎を利用されている市民の皆さんから、「基本構想」の報告や現庁舎の課題・問題点をふまえた上で、新庁舎のあるべき姿について意見を交換していただきます。
- ・次世代の亀山市を担っていく市民（中高生）から、市の職員として将来新庁舎で働くことも想定していただき、自分の職場（施設）の理想の姿について意見をいただきます。
- ・それぞれの世代・属性の意見や世代間の交流を通じて、行政サービスのあり方や新庁舎が備える機能を取りまとめ、基本計画に反映します。

1-3 目標（ゴール）

次の目標のもと、コラボレーションプログラムを実施しました。

<庁舎を利用する市民>

- ・新庁舎整備を契機として、亀山市の将来像を描きながら、「亀山市のまちづくりの拠点となる庁舎のイメージ」についての意見を整理します。
- ・新庁舎整備の際に特に重視すべきこと、よりよい庁舎とするための皆さんの提言を確認します。
- ・「市民交流」を進める上で、必要な機能とその活用方法についての意見を整理します。

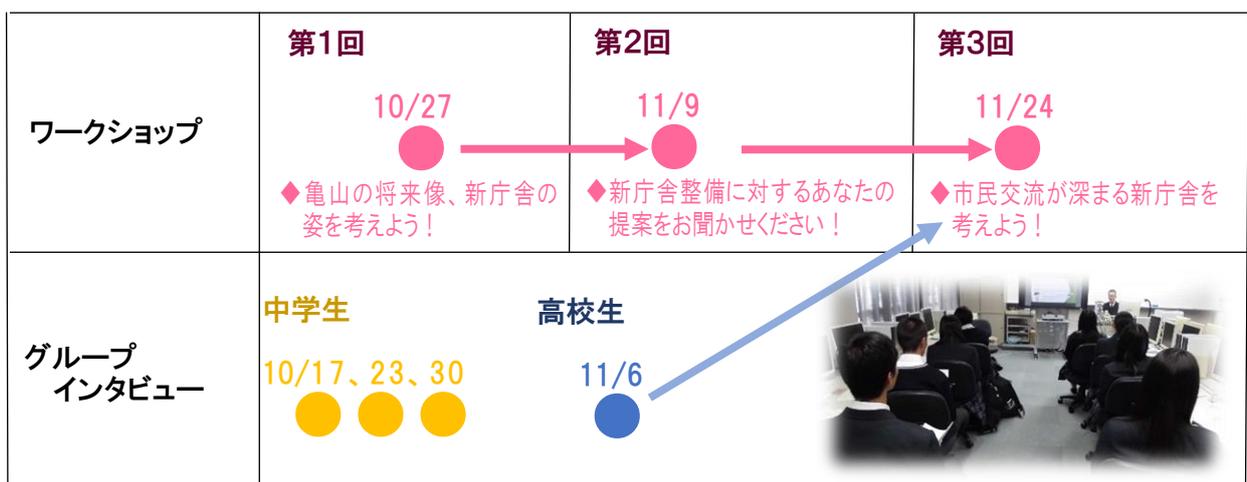
<次世代の亀山市を担っていく市民（中高生）>

- ・将来、実際に新庁舎を利用することになる中学生及び高校生からの意見を整理します。
- ・市民の生活や事業を支える職場環境として相応しく、効率よく仕事ができる「庁舎のあり方」について、若い世代の意見を整理します。
- ・亀山市の魅力をふまえ、また亀山市の将来像を描きながら、「亀山市のまちづくりの拠点となる庁舎のイメージ」についての意見を整理します。

1-4 実施概要

コラボレーションプログラムでは、「グループインタビュー」と「ワークショップ」を実施し、中学生から大人まで幅広い世代の新庁舎に関する意見を整理しました。

区分	意見聴取方法						
中学生 (市内3中学校)	グループインタビュー 各校で選抜した生徒からの意見をインタビュー形式で聴き取ります。 【回数】 各校1回 【参加者】 中学生(市内3中学校)、高校生(亀山高校) 【内容】 ◆市役所の役割や現庁舎の概要等の説明 30分 ◆インタビュー 30分						
高校生(亀山高校)							
18歳以上	ワークショップ 幅広い年代の交流を通じて、新庁舎に関する意見・要望等をワークショップ形式で聴き取ります。 【回数】 3回 【参加者】 亀山市内に在住・在勤・在学する人または市内で事業を行う人 【内容】 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>第1回</td> <td>◆亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>◆新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>◆市民交流が深まる新庁舎を考えよう！</td> </tr> </table> 【日時】 令和元年10月27日(日)・11月9日(土)・11月24日(日) いずれも 10:00~12:00 【場所】 本庁舎3階 大会議室 総合保健福祉センター2階 大会議室 関支所3階 大会議室	第1回	◆亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！	第2回	◆新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！	第3回	◆市民交流が深まる新庁舎を考えよう！
第1回	◆亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！						
第2回	◆新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！						
第3回	◆市民交流が深まる新庁舎を考えよう！						



1-5 実施結果

1-5-1 ワークショップの提言

ワークショップでのワークテーマ「将来の亀山市のまちの姿」、「新庁舎の姿」、「市民交流が深まる新庁舎」に関する提言（キャッチコピー）は次のとおりです。

ワークショップの提言

テ ー マ	将来の亀山市のまちの姿を考えよう！（第1回・ワーク①）
提 言	<p>A班：誰もが暮らしやすく、魅力ある街（自然・歴史をもっとPR）</p> <p>B班：自然が豊かで子供も高齢者も笑顔があふれる“まち”</p> <p>C班：“維持”ではなく“前進”へ</p> <p>D班：市民が交流したくなるまち</p>
テ ー マ	新庁舎の姿を考えよう！（第1回・ワーク②）
提 言	<p>A班：みんなが使いやすく、経済的な庁舎！</p> <p>B班：自然に調和したみんなの拠点</p> <p>C班：開かれた自由な庁舎</p> <p>D班：ゆっくり、着実な庁舎（まち）づくり</p>
テ ー マ	市民交流が深まる新庁舎を考えよう！（第3回・ワーク②）
提 言	<p>A班：プライバシーがきちんと守られている市役所機能。 内と外の区切りがない（シェア）わくわくスペース！</p> <p>B班：若者も来る！</p> <p>C班：未来のために</p> <p>D班：交流を倍にして ONE TEAM の亀山に</p>

1-5-2 コラボレーションプログラムでの意見

ワークショップ各回における提言やキーワードを整理します。



ワークショップでの意見から、将来の亀山のまちづくりや新庁舎整備に求められているもの、必要とされているものを整理します。

ワークショップでの意見の整理

- ・観光地の魅力を発信し、現在の里山の宝（自然・歴史等）、地域の祭り、伝統行事を継承する
- ・若い人が住みたくなり、子供・高齢者・外国人にやさしく、世代間交流が活発でにぎわいがあり、ゆとりのあるまちづくりを進める
- ・商業施設や大型ショッピングセンター、プロスポーツチーム、大学、リニア新幹線駅を誘致し、雇用の充実、U I J ターンによって活性化を図る
- ・公共交通機関が利用しやすく、自家用車がなくても生活できる利便性の高いまちとする
- ・亀山駅近傍において新庁舎整備するなど、都市機能の集約を図る
- ・無理のない財政運営に加えて、人口増加によって財政力の向上を図る

- ・災害に強い土地・地盤に立地し、建築物として強く、地域の避難場所や防災拠点、亀山の安全の象徴
- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮され、市民や来訪者のすべての人にやさしい
- ・動線が効率的で、窓口機能が充実しワンフロアで手続きが完結し、駐車場が広く、使いやすい
- ・交流スペースや相談窓口があり、市民や来訪者が気軽に立ち寄り、集うことができる
- ・豊かな土地を活かした低層建築物で、自然や景観に調和するとともに、デザイン性が高い
- ・コストの抑制、エネルギーの自給（災害時を含む）、AIの活用によって経済的でスマート
- ・駅、商業施設、飲食店、スポーツ施設、文化会館、学校、公園などの機能を有した複合施設
- ・亀山の歴史・文化・魅力を学び・知るとともに情報発信し、まちづくりの機運を醸成する

- ・幅広い世代が集い、施設やサービスの利用やイベントの参加を通じて、市民交流や地域交流を図る
- ・市民が自ら学習し、市民活動や専門家の支援を通じて、得意分野や生きがいを見つける
- ・会議室や議場などの多目的利用や市民開放によって、市民の財産を賢くスマートに使う
- ・心が和むBGM・アロマ、ミニコンサート、健康体操、緑豊かな空間によって癒やしを提供する
- ・喫茶・食事、みやげ物を販売・提供し、情報発信するとともに災害時（炊き出し）にも備える
- ・既存施設（あいあい、協働センター）の有効活用や役割分担により切れ目ないサービスを提供する
- ・民間事業者やボランティア等専門性を有する人、民間ノウハウを活用する
- ・自治会の活用、市民参加を推進すると同時に、コーディネーターや次世代の人材を育成する

- ・明るくて、あたたかみがあり、バリアフリーに配慮され、開かれた庁舎
- ・ゆったりし、地元の木材等を使用して和みと癒やしを与える庁舎
- ・解体を見据えた設計、エネルギーの利用等によるライフサイクルコストの抑制とお金の透明化
- ・アクセスがしやすい（亀山駅の近く、公共交通機関の利用）、中心部における整備
- ・市民の関わり方を議論し、話し合いやコーディネートの場を確保する
- ・市民が関われることで、亀山市への思いが強くなる
- ・設計・建設・運営の各業務において、市民の意見・提案を採用するとともに、市民からの審査・評価を受け、行政と市民が協働で庁舎整備と市民サービスを提供する（プロセスの透明化）

- ・放課後に遊ぶ・話す、同年代の親・子どもの交流、電車・塾までの時間調整、伝統行事や芸能等の継承による市民交流
 - 必要な空間：ゆっくりでき、座れて、話せて、飲食できる開放的なスペース、キッズスペース、学習スペース、広い広場、商店、公共交通機関の拠点、駐車場
- ・ロビーコンサート、地域物産のマルシェ等による市民交流、市議員との交流
 - 必要な空間：オープンスペース（ステージがある）、公共交通機関の拠点、駐車場
- ・U I J ターンの拠点、個別の相談空間（役所の機能）、自治会活動の場、行政へ提案の場、地域との両方向通信
 - 必要な空間：PCや情報を調べる・発信する設備、シェアオフィス、公共交通機関の拠点
- ・学習・スポーツの拠点
 - 必要な空間：大学・短大・専門学校、ドローンの飛行場

グループインタビューにおけるキーワードを整理します。

インタビュー内容

新庁舎で
重視すべきこと

グループインタビューでのキーワード

- ・バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- ・明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり
- ・広さ、開放感
- ・職員の働きやすさ
- ・憩い・利便施設（公園、展望室、カフェ、自習室、本屋）

新庁舎の建設場所

- ・バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいところ
- ・広いところ、ゆとりのある駐車スペースが確保できる場所
- ・市の真ん中、加太・井田川からも遠くないところ
- ・亀山といえば〇〇といったまわりから分かりやすいところ

グループインタビューでの意見から、新庁舎整備に求められているもの、必要とされているものを整理します。

グループインタビューでの意見の整理

- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮され、市民や来訪者のすべての人にやさしい
- ・施設（ハード）とサービス（ソフト）の両面において親しみやすく、市民や来訪者が気軽に行くことができる
- ・明るく、あたたかみのある空間、畳を使う
- ・駐車場・駐輪場、ロビー、廊下、待合スペース、窓口にゆとりがあり、施設全体に開放感がある
- ・執務室、打合せスペース、収納スペースが確保され、執務空間が機能的かつ効率的で、働きやすい
- ・憩い、学習、交流ができる、利便施設やフリースペースがある

- ・公共交通機関の便が良く、市民や来訪者がアクセスしやすい場所
- ・豊かな土地を活かして、広く、駐車場・駐輪場が確保できる場所
- ・加太・井田川からも、市民全体がアクセスしやすい場所
- ・亀山の自然・歴史・文化と連携・調和し、亀山の顔となる場所

ワークショップやグループインタビューでの主な意見や提言を、機能・性能別に整理します。

コラボレーションプログラムでの意見 ー基本構想に掲げる新庁舎の機能・性能別ー

防災拠点機能	・災害に強い立地、高い場所、地盤に整備された庁舎 ・避難場所、備蓄、交通結節点として機能する庁舎	【ワ】 【グ】 【ワ】
市民サービス機能	・効率化な動線を配した庁舎（ワンフロアで完結するなど） ・窓口機能が充実した庁舎（分かりやすさも含む） ・待ち合いスペースの充実 ・気軽に訪問しやすい場所 ・簡単に目的の窓口を訪問できる ・子どもと行きやすい場所 ・駐車場・駐輪場が充実した庁舎 ・アクセスの良い庁舎、公共交通機関の拠点（バス停等）	【ワ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【ワ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【グ】
議会機能	・使用していないときの議場の活用、 ・議会スペースの活用 ・議員との交流（議場へも行こう！）	【ワ】 【ワ】 【ワ】
執務機能	・職員と市民の対話のハードルが低い庁舎 ・各部・サービスの連携 ・職員の事務の効率化 ・職員の働きやすさ	【ワ】 【ワ】 【グ】 【グ】
市民交流機能	・市民イベントの充実、ロビーコンサート ・情報の公開と地域との両方向通信、市外の人への情報発信強化 ・展示スペース ・気軽に立ち寄れる、集まりやすい庁舎 ・学習スペースや交流スペースが充実した庁舎 ・放課後遊ぶ（話す）場所、同年代の親・子どもの交流 ・地域物産のマルシェ ・行政へ市民の考えの提案 ・亀山らしさ（特産品、木質）	【ワ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【ワ】 【ワ】 【ワ】 【グ】
省エネ機能	・イニシャルコスト、ランニングコストを抑制 ・将来の解体まで見据えた設計	【ワ】 【グ】 【ワ】
耐震性能	・エコな防災（窓は小さくてもよい） ・ガラスの多用を避けた安全性の配慮	【ワ】 【ワ】
環境への配慮	・効率的なエネルギー利用	【ワ】
ユニバーサルデザインへの対応	・ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した庁舎 ・明るい（大きな天窓や入口、窓が多く光がよく入る室内、あたたかみのある空間、畳を使う）、開放的なスペース ・明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり ・ゆっくりでき、座れて、話せて、飲食できるスペース ・キッズスペースや保育所、学習スペースがある	【ワ】 【グ】 【ワ】 【グ】 【グ】 【ワ】 【ワ】 【グ】
	・シンプルな空間 ・地元産材の利用 ・自然や景観にマッチした庁舎 ・デザイン性の高い庁舎（文化遺産になるようなデザイン） ・土日利用のしやすさ ・広い公園（芝生がある公園）がある ・憩い・便利施設（公園、展望室、カフェ、自習室、本屋）	【ワ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【ワ】 【グ】 【ワ】 【ワ】 【グ】

【ワ】ワークショップでの意見、【グ】グループインタビューでの意見

基本構想での6機能3性能を5機能5性能で整理します。

防災拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い立地、高い場所、地盤に整備された庁舎 ・避難場所、備蓄、交通結節点として機能する庁舎 	【ワ】	【グ】
市民サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・効率化な動線を配した庁舎（ワンフロアで完結するなど） ・窓口機能が充実した庁舎（分かりやすさも含む） ・待ち合いスペースの充実 ・気軽に訪問しやすい場所 ・簡単に目的の窓口を訪問できる ・子どもと行きやすい場所 ・駐車場・駐輪場が充実した庁舎 ・アクセスの良い庁舎、公共交通機関の拠点（バス停等） 	【ワ】	【グ】
議会機能	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していないときの議場の活用、 ・議会スペースの活用 ・議員との交流（議場へも行こう！） 	【ワ】	
執務機能	<ul style="list-style-type: none"> ・職員と市民の対話のハードルが低い庁舎 ・各部・サービスの連携 ・職員の事務の効率化 ・職員の働きやすさ 	【ワ】	【グ】
市民交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・市民イベントの充実、ロビーコンサート ・情報の公開と地域との両方向通信、市外の人への情報発信強化 ・展示スペース ・気軽に立ち寄れる、集まりやすい庁舎 ・学習スペースや交流スペースが充実した庁舎 ・放課後遊ぶ（話す）場所、同年代の親・子どもの交流 ・地域物産のマルシェ ・行政へ市民の考えの提案 ・亀山らしさ（特産品、木質） 	【ワ】	【グ】

安全性・耐震性	<ul style="list-style-type: none"> ・エコな防災（窓は小さくてもよい） ・ガラスの多用を避けた安全性の配慮 	【ワ】	
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・イニシャルコスト、ランニングコストを抑制 ・シンプルな空間 ・将来の解体まで見据えた設計 	【ワ】	【グ】
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・地元産材の利用 ・効率的なエネルギー利用 ・自然や景観にマッチした庁舎 ・デザイン性の高い庁舎（文化遺産になるようなデザイン） 	【ワ】	【グ】
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した庁舎 ・土日利用のしやすさ ・明るい（大きな天窓や入口、窓が多く光がよく入る室内、あたたかみのある空間、畳を使う）、開放的なスペース ・明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり ・ゆっくりでき、座れて、話せて、飲食できるスペース ・キッズスペースや保育所、学習スペースがある ・広い公園（芝生がある公園）がある ・憩い・便利施設（公園、展望室、カフェ、自習室、本屋） 	【ワ】	【グ】
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・AIやロボットを活用した案内、AIを活用したスマートな庁舎 ・飲食スペース（カフェ等） ・デジタルサイネージの利用 ・自由にパソコンが使える（情報を調べる） 	【ワ】	【グ】

【ワ】ワークショップでの意見、【グ】グループインタビューでの意見

2 ワークショップ

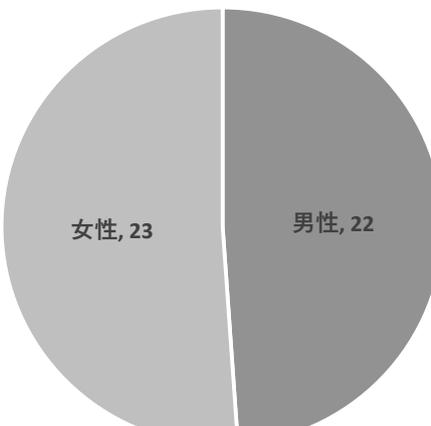
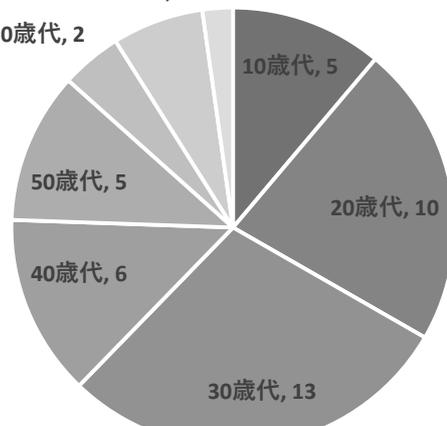
2-1 ワークショップの実施概要（全3回）

今回実施したワークショップの全3回の概要は、次のとおりです。

ワークショップでは、参加者を複数のグループ（テーブル）に分けて、各グループでテーブルファシリテーターの進行のもとで、参加者がK J法*によって各自の意見を整理し、各グループで意見交換し、提言をとりまとめました。

* K J法：考えをカードに記述し、それらをグループ化、ラベル化、図解化、文章化して情報を可視化して整理する方法

ワークショップの実施概要（全3回）

第1回	実施日時	令和元年 10月27日（日） 10:00～12:00
	場 所	本庁舎 3階大会議室
	テ ー マ	◆ 亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！
	参加者数	19人
第2回	実施日時	令和元年 11月9日（土） 10:00～12:00
	場 所	総合保健福祉センター 2階大会議室
	テ ー マ	◆ 新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！
	参加者数	13人
第3回	実施日時	令和元年 11月24日（日） 10:00～12:00
	場 所	関支所 3階大会議室
	テ ー マ	◆ 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！
	参加者数	22人
全参加者	<p>■有 識 者：小松 尚（名古屋大学大学院准教授）</p> <p>■参加者数：45人（全3回の実参加者数）※延べ人数：54人</p>	
	<p style="text-align: center;">性別</p>  <p style="text-align: center;">年齢</p>  <p style="text-align: center;">平均年齢 39.5 歳</p>	

2-2 第1回ワークショップ

2-2-1 実施概要

第1回ワークショップの実施概要は、次のとおりです。

第1回ワークショップの実施概要

実施日時	令和元年 10 月 27 日（日） 10:00～12:00																								
場 所	本庁舎 3 階大会議室																								
テ ー マ	<p>◆亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！</p> <p>ワーク① 新庁舎整備を契機に、将来のまちの姿を考えよう！</p> <p>ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！</p>																								
参加者	<p>■有識者：小松 尚（名古屋大学大学院准教授）</p> <p>■参加者数：19 人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>性別</p> <table border="1"> <caption>性別</caption> <tr><th>性別</th><th>人数</th></tr> <tr><td>女性</td><td>10</td></tr> <tr><td>男性</td><td>9</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>年齢</p> <table border="1"> <caption>年齢</caption> <tr><th>年齢</th><th>人数</th></tr> <tr><td>10歳代</td><td>0</td></tr> <tr><td>20歳代</td><td>3</td></tr> <tr><td>30歳代</td><td>9</td></tr> <tr><td>40歳代</td><td>3</td></tr> <tr><td>50歳代</td><td>1</td></tr> <tr><td>60歳代</td><td>1</td></tr> <tr><td>70歳代</td><td>1</td></tr> <tr><td>80歳代以上</td><td>1</td></tr> </table> </div> </div>	性別	人数	女性	10	男性	9	年齢	人数	10歳代	0	20歳代	3	30歳代	9	40歳代	3	50歳代	1	60歳代	1	70歳代	1	80歳代以上	1
性別	人数																								
女性	10																								
男性	9																								
年齢	人数																								
10歳代	0																								
20歳代	3																								
30歳代	9																								
40歳代	3																								
50歳代	1																								
60歳代	1																								
70歳代	1																								
80歳代以上	1																								

2-2-2 実施内容

第1回ワークショップの内容(タイムスケジュール)、意見交換等の様子、各班のとりまとめ結果、有識者の講評内容は、次のとおりです。

(1) 第1回ワークショップの内容(タイムスケジュール)

時間	次第	内容
10:00～ (5分)	挨拶	主催者挨拶 趣旨説明
10:05～ (25分)	基本構想の報告	基本構想の報告 ・報告内容についてご質問があればお伺いします。
10:30～ (20分)	ワーク①	「新庁舎整備を契機に、将来のまちの姿を考えよう！」 ・50年先を見通し、「将来こうなってほしい」と思う亀山市の姿についてご意見ください。
(10分)	(休憩)	
11:00～ (30分)	ワーク②	「新庁舎の姿を考えよう！」 ・ワーク①をふまえ、亀山市のまちの拠点となる新庁舎を思い描くイメージについてご意見ください。
11:30～ (10分)	発表	各班からの報告 ・リーダーから、各班の成果を報告ください。
11:40～ (10分)	講評	小松委員長からの講評
11:50～	閉会	(アンケートのお願い)

主催者(副市長)挨拶

本日は、新庁舎整備基本計画策定のための市民ワークショップにご参加いただき、誠にありがとうございます。

現在、市では新しい庁舎の整備に向けて検討を行っており、昨年度には基本構想を取りまとめ、『市民に開かれた、安心と希望へつながる庁舎』という基本理念を掲げさせていただきました。

市役所の本庁舎が建設されたのは、私が生まれた年と同じ昭和33年で築61年が過ぎています。大きな地震が発生しても大丈夫なように耐震補強はしてありますが、使い勝手の面で不具合が多く出てきていますので、基本理念で示した庁舎を目指して整備していきたいと考えています。

この市民ワークショップは、今回と併せて3回を予定しており、理想の庁舎像に向けてご意見をいただき、計画に反映させながら庁舎整備を進めていきますのでよろしくお願い致します。



第1回ワークショップの意見整理（とりまとめ）のイメージ

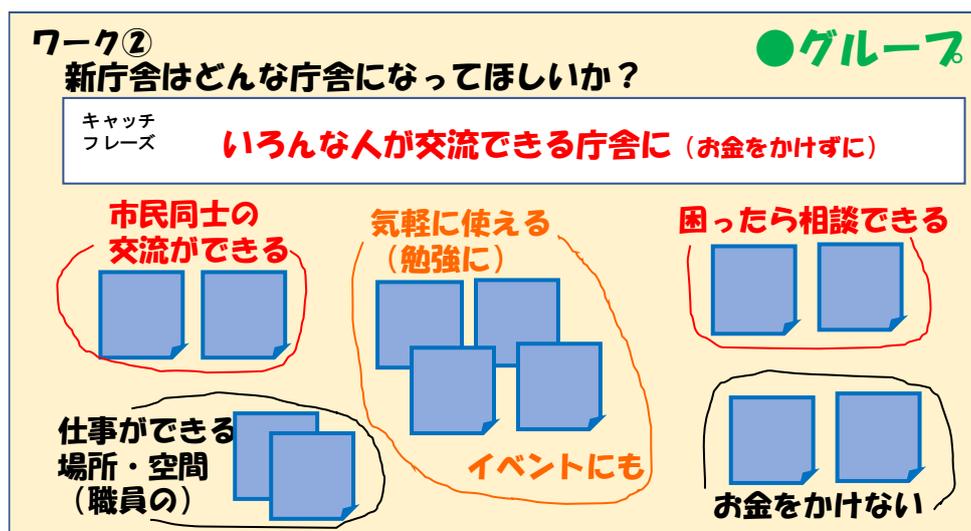
ワーク①：新庁舎整備を契機に、将来のまちの姿を考えよう！

- ・自分の意見を付箋紙に書きます。
『将来こうなってほしい』と思う亀山市の姿」（黄色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。
- ・班のキャッチフレーズを作成します。



ワーク②：新庁舎の姿を考えよう！

- ・ワーク①を踏まえて、自分の意見を付箋紙に書きます。
「思い描いた亀山市になるために、『新庁舎はどんな役割を持ち、どんな庁舎になってほしいか』」（青色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。
- ・班のキャッチフレーズを作成します。



(2) 第1回ワークショップの様子

班	各班での検討の様子	各班からの発表の様子
A班		
B班		
C班		
D班		

(3) 第1回ワークショップの各班のとりまとめ結果

A班

ワーク① 亀山市の将来のまちの姿を考えよう！

「誰もが暮らしやすく、魅力のある街」

自然・歴史をもっとPR

A班

ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！

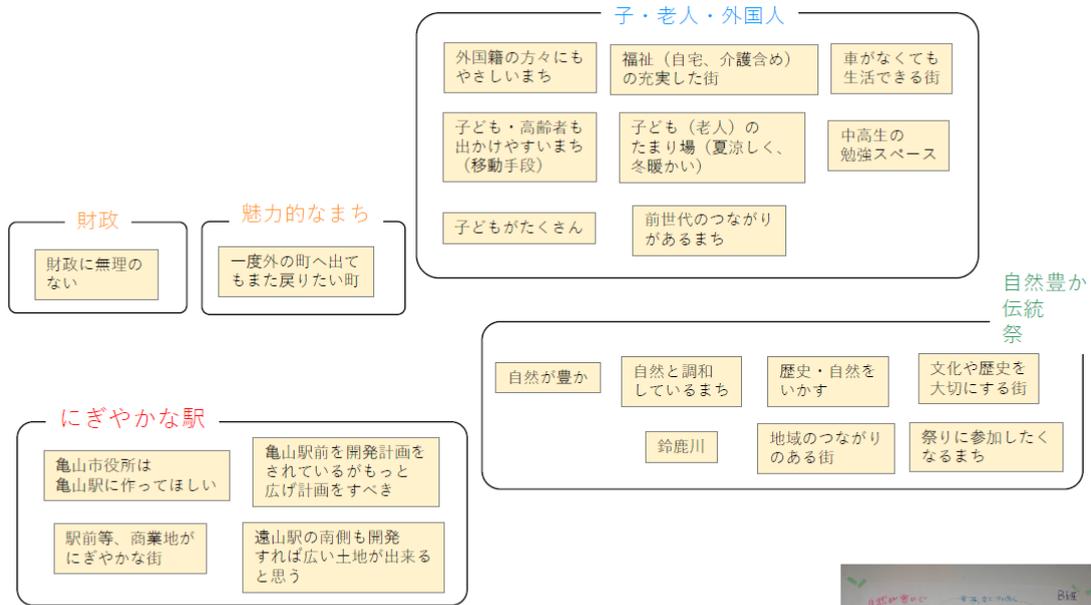
「みんなが使いやすく、経済的な庁舎！」

A班

B班

ワーク① 亀山市の将来のまちの姿を考えよう！

B班

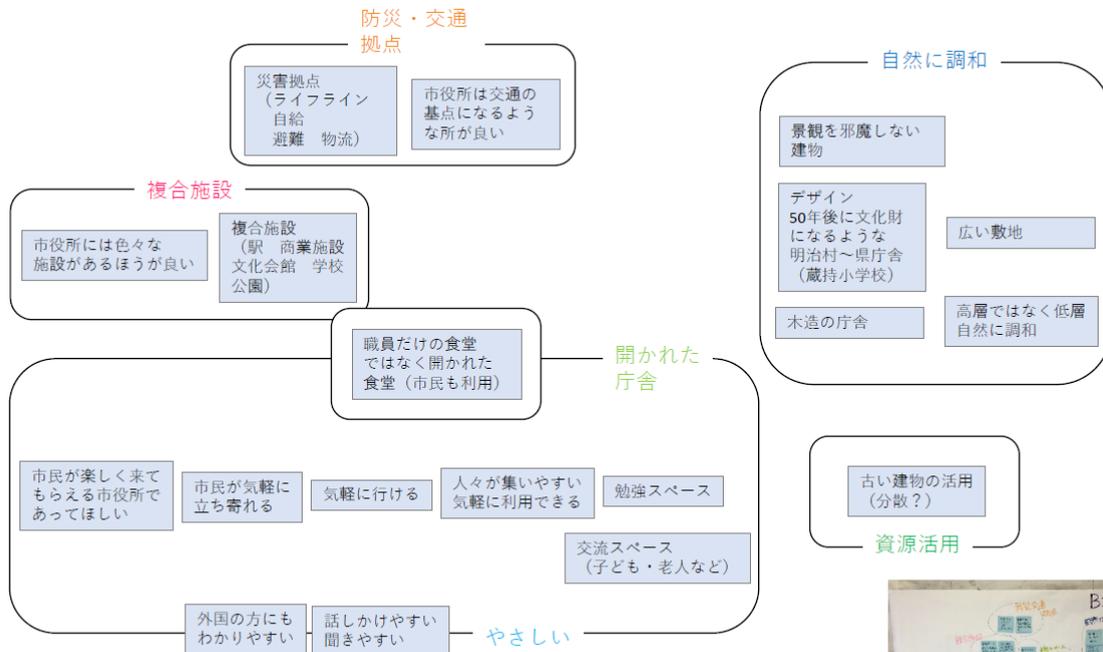


「自然が豊かで子どもも高齢者も笑顔があふれる“まち”」



ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！

B班



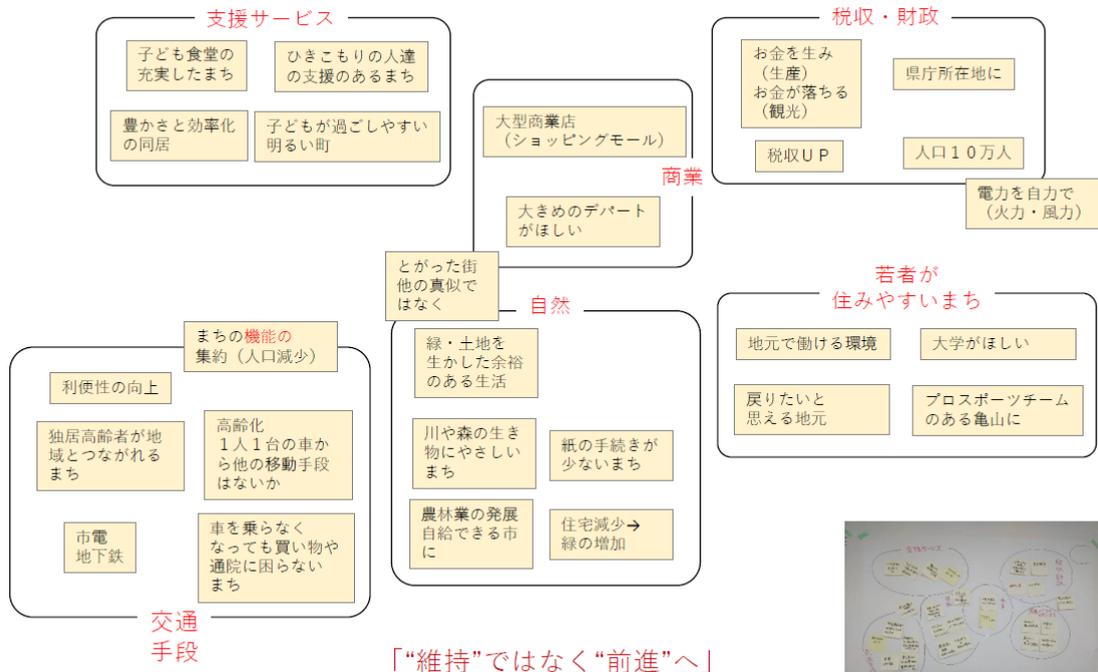
「自然に調和したみんなの拠点」



C班

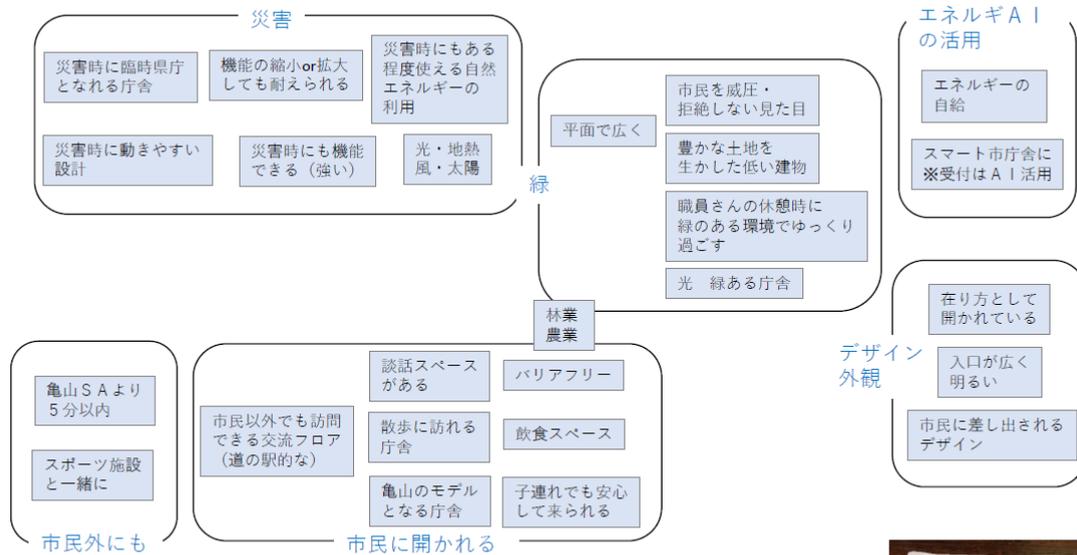
ワーク① 亀山市の将来のまちの姿を考えよう！

C班

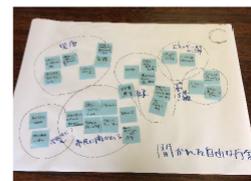


ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！

C班



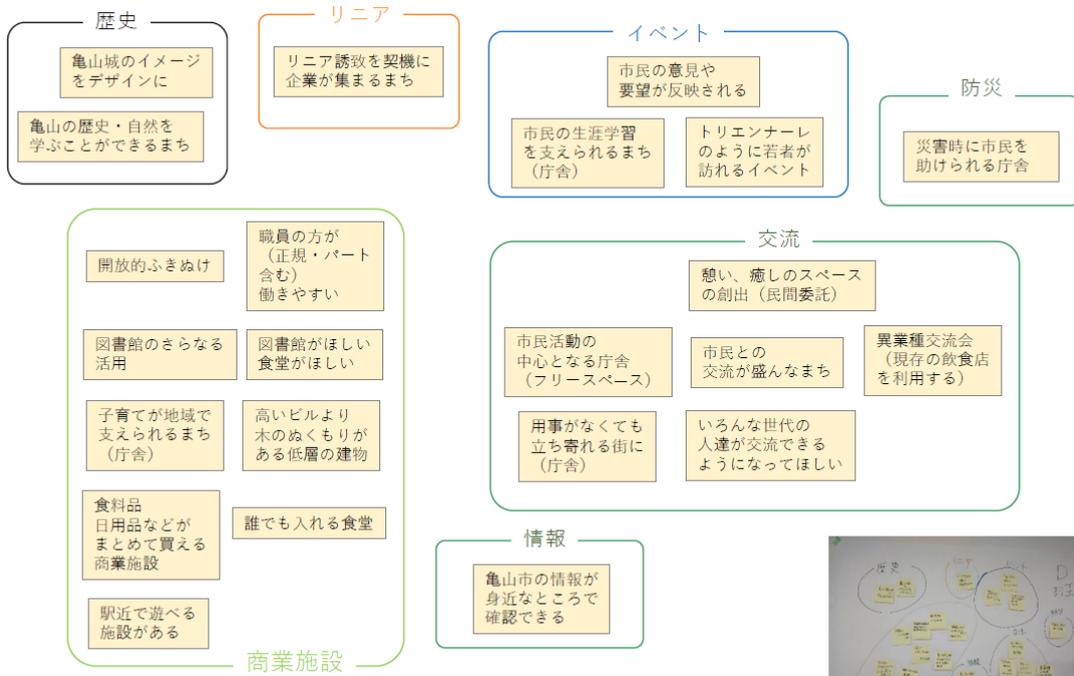
「開かれた自由な庁舎」



D班

ワーク① 亀山市の将来のまちの姿を考えよう！

D班

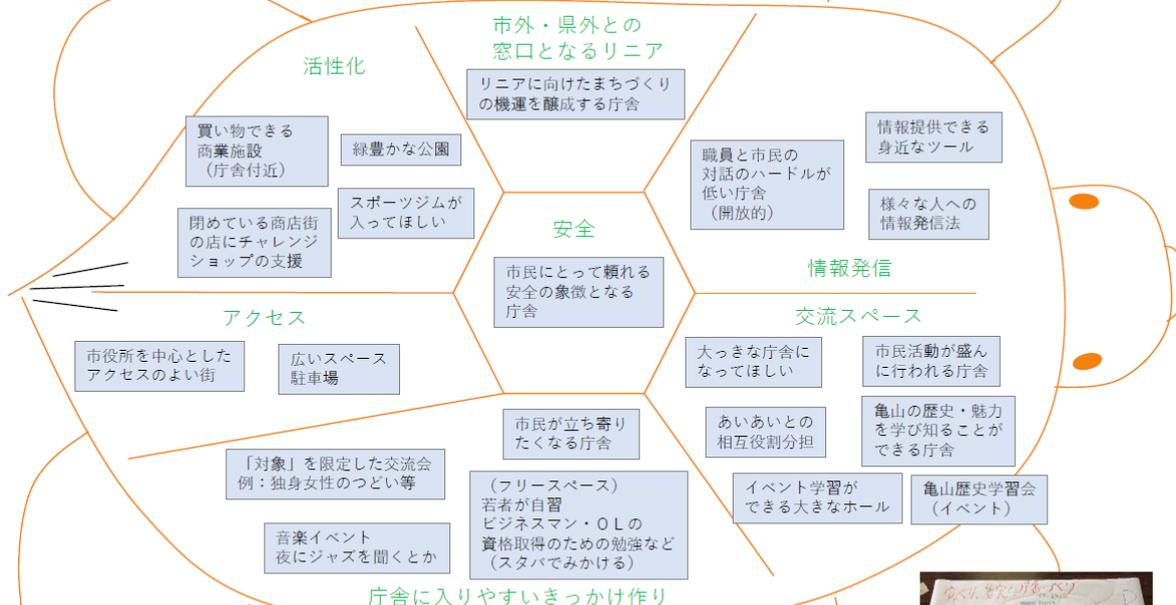


「市民が交流したくなるまち」



ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！

D班



庁舎に入りやすいきっかけ作り

まち「ゆっくり、着実な庁舎づくり」



(4) 第1回ワークショップの有識者(小松 尚 名古屋大学大学院准教授)の講評

○将来像

- ・将来像を思い浮かべていただきましたが、手塚治虫が描いた鉄腕アトムの世界が現在ほぼ実現できていると言われるように、50年先にはキャッチフレーズにある市の姿が、皆様方が一致団結して努力すれば実現できるのではないかと思います。
- ・その時にあわせて、誰かがやってくれたらではなく、一部で構いませんから自分は何ができるかも考えてみてはと思いました。いかがでしょうか。



○AI・情報技術

- ・庁舎の姿については、これからAI技術が進展し、また通信技術が5G、6Gという超高速化する時代に、「市庁舎は将来も必要か？」という意見も他所では聞こえます。同じ場所にいなくても情報のやりとりができれば市庁舎は小さくできるのではないかと思います。今回のワークショップの意見では、将来像に対して市庁舎は必要であるという意見でした。

○リノベーション

- ・「外観」「災害に強い」「使いやすさ」についての意見がありましたが、皆さんがイメージするその市庁舎は新築でしょうか？氷見市のように高校の廃校を市庁舎に転用した例もあります。これは亀山でもという意味ではありませんが、亀山市と人口規模が同じである氷見市がリノベーション、コンバージョンという方法で素敵な市庁舎をつくったように、亀山市の新庁舎にもさまざまな可能性があると考えています。
- ・新庁舎のあり方については発想豊かな市民の皆様の意見を積極的に取り入れていきたいと思っています。

○次回のワークショップに向けて

- ・次回からはより具体的な意見をいただくため、ワークを始める前に大きく4つのテーマをお伝えしておこうと思います。
 - ①新庁舎でどんなことができると良いか(サービスや活動内容など)。
 - ②そのサービスや活動は誰が担うのか。行政職員だけか。
 - ③そのために望ましい環境、デザインは何か。
 - ④新庁舎まで8年、どのようなプロセスで進めたら良いか、市民の皆様がどのように関わっていけばよいか。さらに竣工後の運用についても。
- ・次回参加いただける方は、このようなテーマについて意見を温めていただければと思います。本日はありがとうございました。

2-2-3 実施結果（とりまとめ）

第1回ワークショップにおいて整理された意見や提言、また参加者アンケートにみられる意見から、主な意見や提言をとりまとめます。

（1）将来のまちの姿（第1回ワークショップ）

○まちの魅力向上

- ・ 観光地の魅力を発信
- ・ 自然や歴史、地域の祭りや伝統行事の継承
- ・ ゆとりのあるまちづくり
- ・ U I J ターンの活性化

○コミュニティ

- ・ 若い人が住みたいまち
- ・ 子どもや高齢者にやさしいまち
- ・ 外国人にもやさしいまち
- ・ 世代間交流が活発なまち
- ・ にぎわいのあるまち
- ・ 生涯学習施設や内容の充実
- ・ 市民活動や異業種交流が活発なまち（場所の設置）

○経済・産業

- ・ 商業施設や大型ショッピングセンターの誘致
- ・ 飲食店の充実
- ・ 雇用が充実したまち
- ・ プロスポーツチームの誘致
- ・ 大学の誘致
- ・ リニア新幹線駅の誘致

○交通

- ・ 利便性の向上
- ・ 利用しやすい公共交通機関
- ・ 自家用車がなくても生活できるまち

○行財政

- ・ 駅近傍での新庁舎整備（駅前開発）
- ・ 無理のない財政の実施
- ・ 都市機能の集約
- ・ 人口増加、財政力の向上

(2) 新庁舎の姿 (第1回ワークショップ)

○災害に強い庁舎

- ・ 災害に強い立地、高い場所、地盤に整備された庁舎
- ・ 避難場所、備蓄、交通結節点として機能する庁舎

○市民にやさしい、ひらかれた庁舎

- ・ ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した庁舎
- ・ 効率化な動線を配した庁舎 (ワンフロアで完結するなど)
- ・ 窓口機能が充実した庁舎 (分かりやすさも含む)
- ・ 駐車場が充実した庁舎
- ・ アクセスの良い庁舎
- ・ 気軽に立ち寄れる、集まりやすい庁舎
- ・ 学習スペースや交流スペースが充実した庁舎

○自然にやさしい経済的な庁舎

- ・ イニシャルコスト、ランニングコストを抑制した庁舎 (既存建物の活用)
- ・ AIを活用したスマートな庁舎
- ・ 自然や景観にマッチした庁舎 (低層で整備するなど)
- ・ デザイン性の高い庁舎 (文化遺産になるようなデザイン)
- ・ 自然エネルギーを活用した庁舎

○複合的な機能を有する庁舎

- ・ 駅、商業施設、飲食店 (スペース)、スポーツ施設、文化会館、学校、公園などの機能を有した庁舎

これら「新庁舎の姿」に関する意見や提言を、建物の機能面から再整理すると次のとおりとなります。

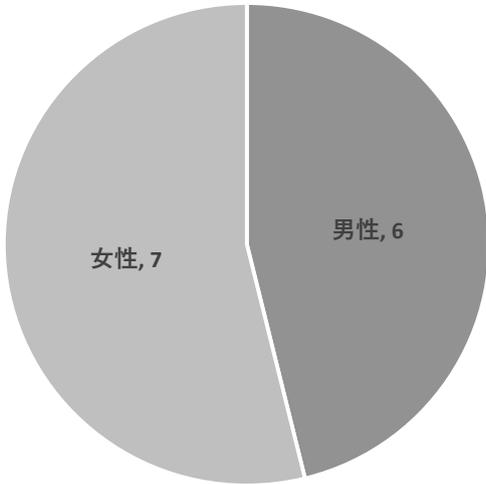
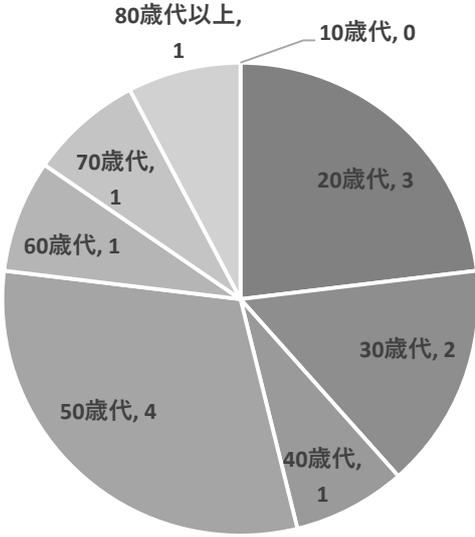
機能	意見・提言
防災拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害に強い立地、高い場所、地盤に整備された庁舎 ・ 避難場所、備蓄、交通結節点として機能する庁舎
市民サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効率化な動線を配した庁舎（ワンフロアで完結するなど） ・ 窓口機能が充実した庁舎（分かりやすさも含む） ・ 駐車場が充実した庁舎 ・ アクセスの良い庁舎
市民交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に立ち寄れる、集まりやすい庁舎 ・ 学習スペースや交流スペースが充実した庁舎
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルデザイン、バリアフリーに配慮した庁舎 ・ イニシャルコスト、ランニングコストを抑制した庁舎（既存建物の活用） ・ AIを活用したスマートな庁舎 ・ 自然や景観にマッチした庁舎（低層で整備するなど） ・ デザイン性の高い庁舎（文化遺産になるようなデザイン） ・ 自然エネルギーを活用した庁舎 ・ 駅、商業施設、飲食店（スペース）、スポーツ施設、文化会館、学校、公園などの機能を有した庁舎

2-3 第2回ワークショップ

2-3-1 実施概要

第2回ワークショップの実施概要は、次のとおりです。

第2回ワークショップ実施概要

実施日時	令和元年 11 月 9 日（土） 10:00～12:00
場 所	総合保健福祉センター 2 階大会議室
テ ー マ	<p>◆新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！</p> <p>ワーク① 新庁舎でどんなことができると良いですか？ そのサービスはだれが担うべきですか？</p> <p>ワーク② そのイメージに相応しいデザイン・環境整備は？ 整備から運営まで、市民はどのように関わるべきですか？</p>
参加者	<p>■有 識 者：小松 尚（名古屋大学大学院准教授）</p> <p>■参加者数：13 人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>性別</p>  <p>女性, 7 男性, 6</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>年齢</p>  <p>10歳代, 0 20歳代, 3 30歳代, 2 40歳代, 1 50歳代, 4 60歳代, 1 70歳代, 1 80歳代以上, 1</p> </div> </div>

2-3-2 実施内容

第2回ワークショップの内容(タイムスケジュール)、意見交換等の様子、各班のとりまとめ結果、有識者の講評内容は、次のとおりです。

(1) 第2回ワークショップの内容(タイムスケジュール)

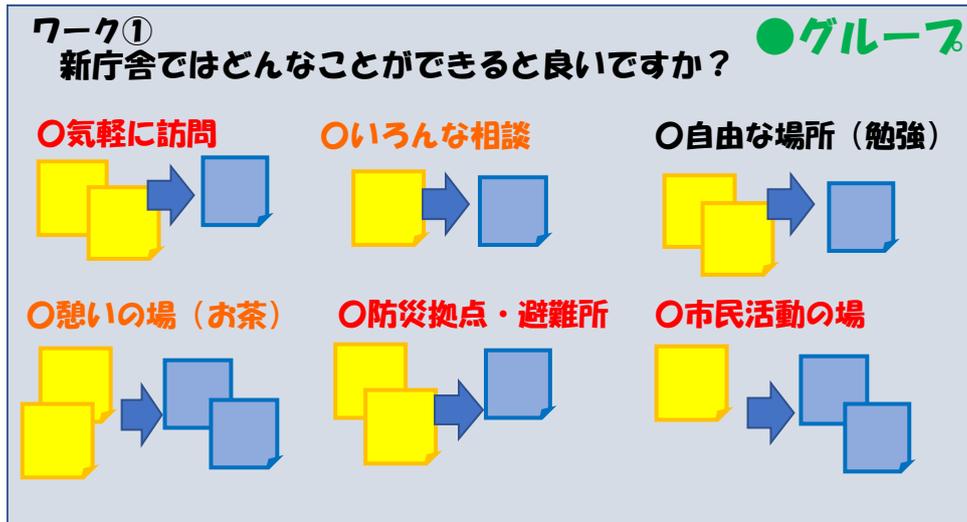
時間	次第	内容
10:00～ (5分)	挨拶	主催者挨拶 趣旨説明
10:05～ (30分)	基本構想の報告	前回の振り返りと基本構想の報告 ・報告内容について簡単な質問があればお伺いします。
10:35～ (30分)	ワーク①	「新庁舎でどんなことができると良いですか？」 「そのサービスはだれが担うべきですか？」 ・あなたのアイデアをお聞かせください。
(5分)	(休憩)	
11:10～ (30分)	ワーク②	「そのイメージに相応しいデザイン・環境整備は？」 「整備から運営まで市民はどのように関わるべきですか？」 ・あなたのアイデア・提言を教えてください。
11:40～ (10分)	発表	各班からの報告 ・リーダーから、各班の成果を報告ください。
11:50～ (10分)	講評	小松委員長からの講評
12:00～	閉会	(アンケートのお願い)

第2回ワークショップの意見整理（とりまとめ）のイメージ

ワーク①：新庁舎でどんなことができると良いですか？

そのサービスはだれが担うべきですか？

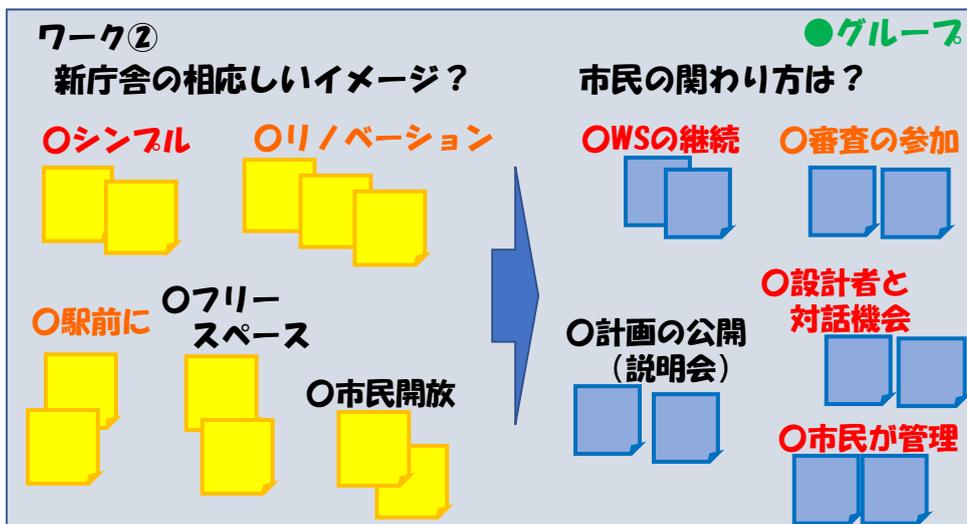
- ・自分の意見を付箋紙に書きます。
「新庁舎はどんなことができる場所になると良いか」（黄色の付箋紙）
「そのサービスはだれが担う（管理運営する）と良いか」（青色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。



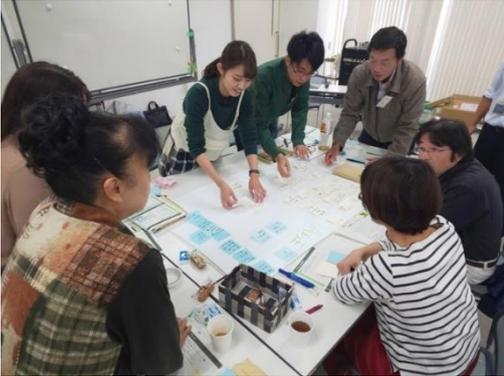
ワーク②：そのイメージに相応しいデザイン・環境整備は？

整備から運営まで、市民はどのように関わらるべきですか？

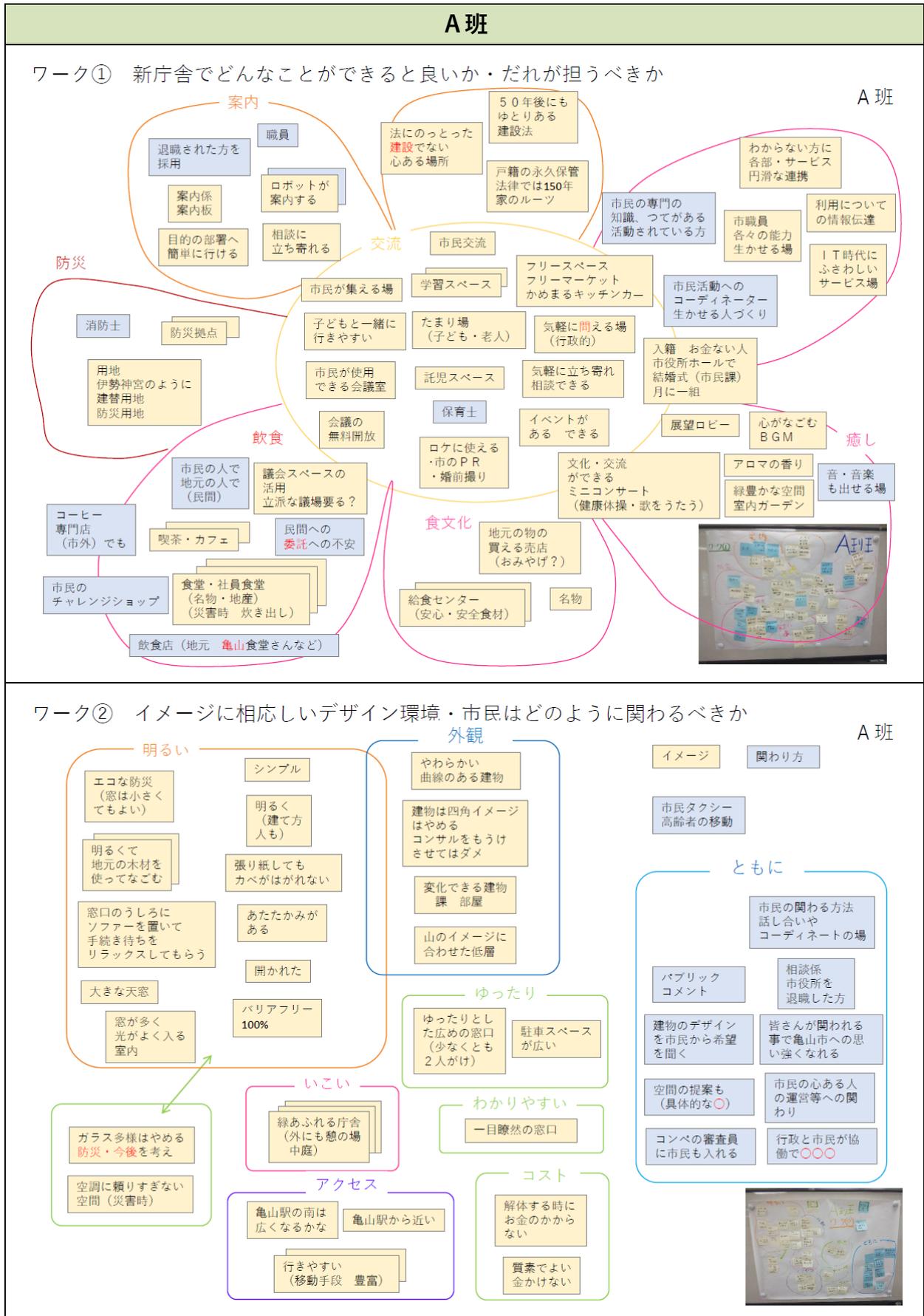
- ・ワーク①を踏まえ、自分の意見を付箋紙に書きます。
「どんなイメージの庁舎になるか、デザイン・空間・環境など」（黄色の付箋紙）
「整備から運営まで、市民はどのように関わることができるか」（青色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。



(2) 第2回ワークショップの様子

班	各班での検討の様子	各班からの発表の様子
A班		
B班		

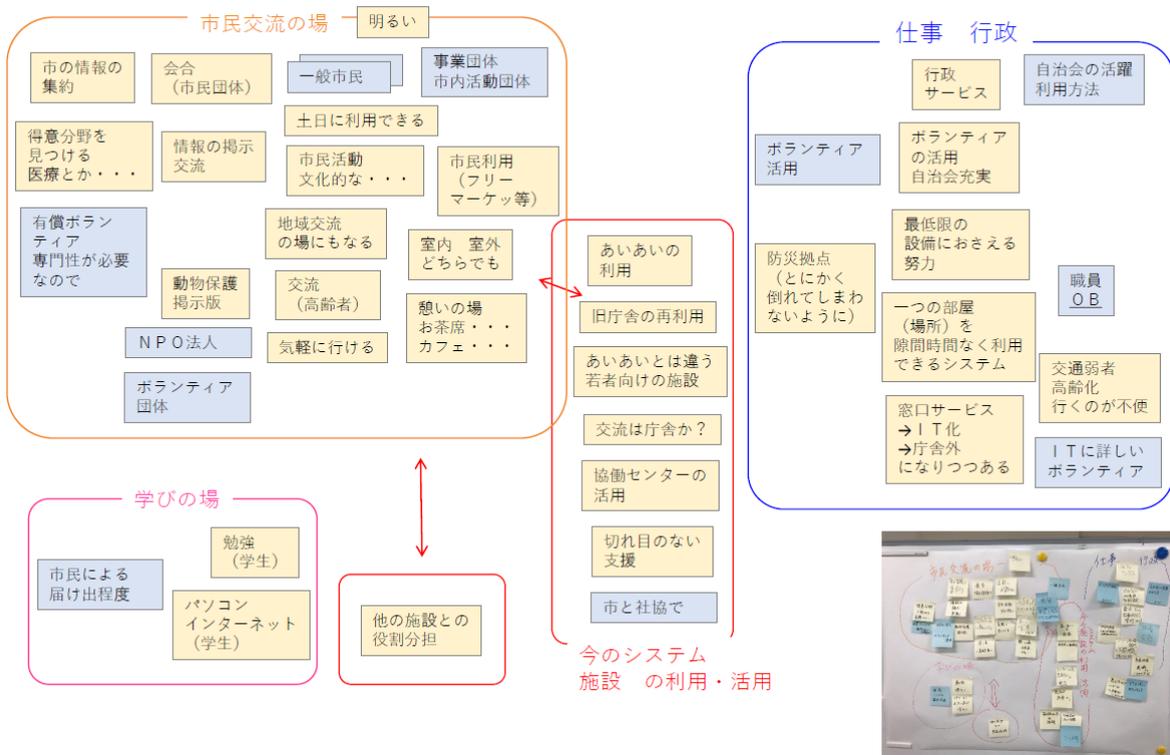
(3) 第2回ワークショップの各班のとりまとめ結果



B班

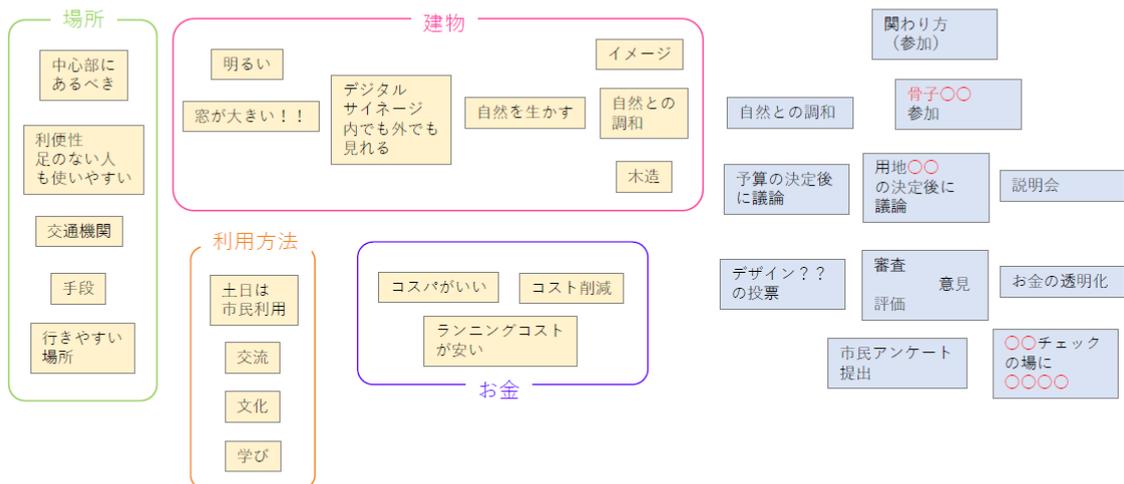
ワーク① 新庁舎でどんなことができると良いか・だれが担うべきか

B班



ワーク② イメージに相応しいデザイン環境・市民はどのように関わるべきか

B班



(4) 第2回ワークショップの有識者(小松 尚 名古屋大学大学院准教授)の講評

○全体講評

- ・ 皆様おつかれさまでした。少し難しいワークだったでしょうか。もしかしたら、ワーク①、②ともに、青い付箋への記載が難しかったかもしれないなど、拝見して思いました。
- ・ 第1回のワークショップにおける市民の皆様の対応を拝見して、それならば対応いただけるのではないかと期待して企画しました。5~10年前だと黄色の付箋の作業だけで終わりだったのではないかと、市民の皆様も進化していると感じました。
- ・ 市民と協働してつくる新庁舎なので、自分事として考えて頂き、意見を聞きたかったものをご理解いただければと思います。



○最近の住民参加のあり方の事例

- ・ 最近こんな話を聞きました。ある町で集会場に不具合が発生したので、行政に相談したとのこと。しかしながら、お金がないから材料だけ支給するので地域の方で修繕してくださいと言われ、地域の方が修繕したとのこと。
- ・ これについて、皆さんはどのように思われますか？行政がやることだろうと思うか、待っていても直らないのであれば地域住民で直そうと思うか。
- ・ 今までは行政が対応する、行政に要望を出すような内容も、今後は地域で進めていくという方法も出てくるのではないかと考えています。その方が価値のある時代になっていく可能性があります。皆様には、要望だけでは無く、実現する担い手になってほしいと思います。

○次回のワークショップに向けて

- ・ ワークショップの成果の発表の中で、プロセスの透明化をという意見がありました。大変大事な意見ですし、税金で整備するわけなので当然の意見だと思います。他方で、予算の総枠が分からないと議論できない、境界条件がはっきりしないと議論が発散するという面もあります。
- ・ しかしながら、建物の予算がある程度見えているときは、予算だけでなくデザインなどの仕様も決まっていることが多く、その時点で意見を出しても通らないことが多いです。そのため、もっとフリーハンドな状態で皆様の意見を聞きたかったという趣旨で、今日のワークショップを実施しました。
- ・ 頂いた意見を踏まえて、検討会でしっかりと議論させていただきます。本日はありがとうございました。

2-3-3 実施結果（とりまとめ）

第2回ワークショップにおいて整理された意見や提言、また参加者アンケートにみられる意見から、主な意見や提言をとりまとめます。

（1）新庁舎でできると良いこと、そのサービスの担い手（第2回ワークショップ）

新庁舎でできると良いこと	サービスの担い手
<p>○交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が利用しやすいスペース ・ フリースペース ・ 子どもと行きやすい場所 ・ 世代を問わないたまり場 ・ 託児スペース ・ イベントスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間の保育園や保育士 ・ ボランティア ・ 市民活動団体
<p>○防災拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な用地の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関
<p>○憩い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 展望ロビー ・ 心がなごむ音楽 ・ アロマの香り ・ 緑豊かな空間室内ガーデン 	<p>—</p>
<p>○学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習スペース ・ 会議室の無料開放 	<p>—</p>
<p>○飲食・購買</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喫茶・カフェ ・ 食堂・社員食堂（名物・地産）（災害時の炊き出しも含む） ・ 議場の活用（使用していないとき） ・ 地元の物産店 	<ul style="list-style-type: none"> ・ かめまるキッチンカー ・ 地元の飲食事業者 ・ 市外の飲食事業者 ・ 市民のチャレンジショップ
<p>○分かりやすい案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に訪問しやすい場所 ・ 簡単に目的の窓口を訪問できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI やロボットを活用した案内 ・ 定年退職された行政職員
<p>○行財政運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいあいの利用 ・ 旧庁舎の再利用 ・ 他の施設との適切や役割分担 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政機関

これら「新庁舎でできると良いこと」に関する意見や提言を、建物の機能面から再整理すると次のとおりとなります。

機能	意見・提言
防災拠点機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な用地の確保
市民サービス機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気軽に訪問しやすい場所 ・ 簡単に目的の窓口を訪問できる ・ 子どもと行きやすい場所 ・ 託児スペース
議会機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議場の活用（使用していないとき）
執務機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議室の無料開放（学習等） ・ 食堂・社員食堂（名物・地産）（災害時の炊き出しも含む） ・ あいあいの利用 ・ 旧庁舎の再利用 ・ 他の施設との適切な役割分担
市民交流機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が利用しやすいスペース ・ フリースペース ・ 世代を問わないたまり場 ・ イベントスペース ・ 地元の物産 ・ 展望ロビー ・ 心がなごむ音楽 ・ アロマの香り ・ 緑豊かな空間室内ガーデン ・ 喫茶・カフェ ・ 学習スペース

(2) イメージに相応しいデザイン・環境整備、市民の関わり方 (第2回ワークショップ)

イメージに相応しいデザイン・環境整備	市民の関わり方
<p>○明るい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな天窓・入口 ・ 窓が多く光がよく入る室内 ・ あたたかみのある空間 	
<p>○ゆったり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口のうしろにソファを置いて手続き待ちをリラックスしてもらう ・ 曲線の多い空間 ・ 十分な駐車スペース 	
<p>○経済的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元産材の利用 ・ シンプルな空間 ・ 効率的なエネルギー利用 ・ 将来の解体まで見据えた設計 ・ イニシャル・ランニングコストの抑制 ・ デジタルサイネージの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が参加できる場の設置と参加 ・ パブリックコメントの送付 ・ 建物のデザインを市民から希望を聞く ・ 市民からデザインを提案 ・ 審査会の審査員として市民を登用
<p>○利便性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好なアクセス (公共交通機関でも行きやすい) ・ 一目で分かる窓口 ・ 中心部への整備 ・ 土日利用のしやすさ 	
<p>○防災拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エコな防災 (窓は小さくてもよい) ・ ガラスの多用を避けた安全性の配慮 	

これら「イメージに相応しいデザイン・環境整備」に関する意見や提言を、建物の性能面から再整理すると次のとおりとなります。

性能	意見・提言
安全性	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコな防災（窓は小さくてもよい） ・ ガラスの多用を避けた安全性の配慮
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルな空間 ・ 将来の解体まで見据えた設計 ・ イニシャル・ランニングコストの抑制
環境性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元産材の利用 ・ 効率的なエネルギー利用
快適性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 良好なアクセス（公共交通機関でも行きやすい） ・ 一目で分かる窓口 ・ 中心部への整備 ・ 土日利用のしやすさ ・ 大きな天窓・入口 ・ 窓が多く光がよく入る室内 ・ あたたかみのある空間 ・ 十分な駐車スペース ・ 窓口のうしろにソファを置いて手続き待ちをリラックスしてもらう ・ 曲線の多い空間
利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルサイネージの利用

2-4 第3回ワークショップ

2-4-1 実施概要

第3回ワークショップの実施概要は、次のとおりです。

第3回ワークショップ実施概要

実施日時	令和元年 11 月 24 日（日） 10:00～12:00																								
場 所	関支所 3 階大会議室																								
テ ー マ	<p>◆市民交流が深まる新庁舎を考えよう！</p> <p>ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！</p> <p>ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！</p>																								
参 加 者	<p>■有 識 者：小松 尚（名古屋大学大学院准教授）</p> <p>■参加者数：22 人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>性別</p> <table border="1"> <caption>性別</caption> <tr><th>性別</th><th>人数</th></tr> <tr><td>女性</td><td>15</td></tr> <tr><td>男性</td><td>7</td></tr> </table> </div> <div style="text-align: center;"> <p>年齢</p> <table border="1"> <caption>年齢</caption> <tr><th>年齢</th><th>人数</th></tr> <tr><td>10歳代</td><td>5</td></tr> <tr><td>20歳代</td><td>5</td></tr> <tr><td>30歳代</td><td>4</td></tr> <tr><td>40歳代</td><td>5</td></tr> <tr><td>50歳代</td><td>1</td></tr> <tr><td>60歳代</td><td>0</td></tr> <tr><td>70歳代</td><td>2</td></tr> <tr><td>80歳代以上</td><td>0</td></tr> </table> </div> </div>	性別	人数	女性	15	男性	7	年齢	人数	10歳代	5	20歳代	5	30歳代	4	40歳代	5	50歳代	1	60歳代	0	70歳代	2	80歳代以上	0
性別	人数																								
女性	15																								
男性	7																								
年齢	人数																								
10歳代	5																								
20歳代	5																								
30歳代	4																								
40歳代	5																								
50歳代	1																								
60歳代	0																								
70歳代	2																								
80歳代以上	0																								

2-4-2 実施内容

第3回ワークショップの内容(タイムスケジュール)、意見交換等の様子、各班のとりまとめ結果、有識者の講評内容は、次のとおりです。

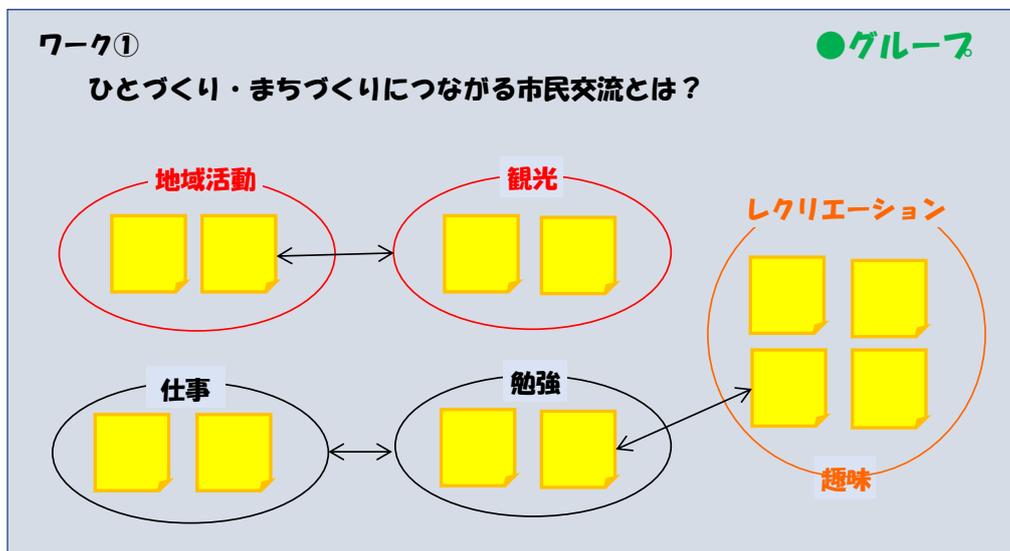
(1) 第3回ワークショップの内容(タイムスケジュール)

時間	次第	内容
10:00～ (5分)	挨拶 趣旨説明	主催者挨拶 プログラムの説明
10:05～ (15分)	振り返り	第1回・第2回ワークショップの振り返り
10:20～ (10分)	進め方 自己紹介	グループワークの進め方とルール 自己紹介と役割分担(テーブルごと)
10:30～ (40分)	ワーク①	「市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！」 ・「市民力・地域力」の活性化策、ひとづくり、まちづくりに つながる市民交流を考えます。
(5分)	(休憩)	
11:15～ (30分)	ワーク②	「市民交流が深まる新庁舎を考えよう！」 ・まちづくりの拠点として、市民交流を深めるために、新庁 舎はどんな庁舎にすべきか考えます。
11:45～ (10分)	発表	グループ発表
11:55～ (5分)	講評	小松委員長からの講評
12:00～	閉会	(アンケートのお願い)

第3回ワークショップの意見整理（とりまとめ）のイメージ

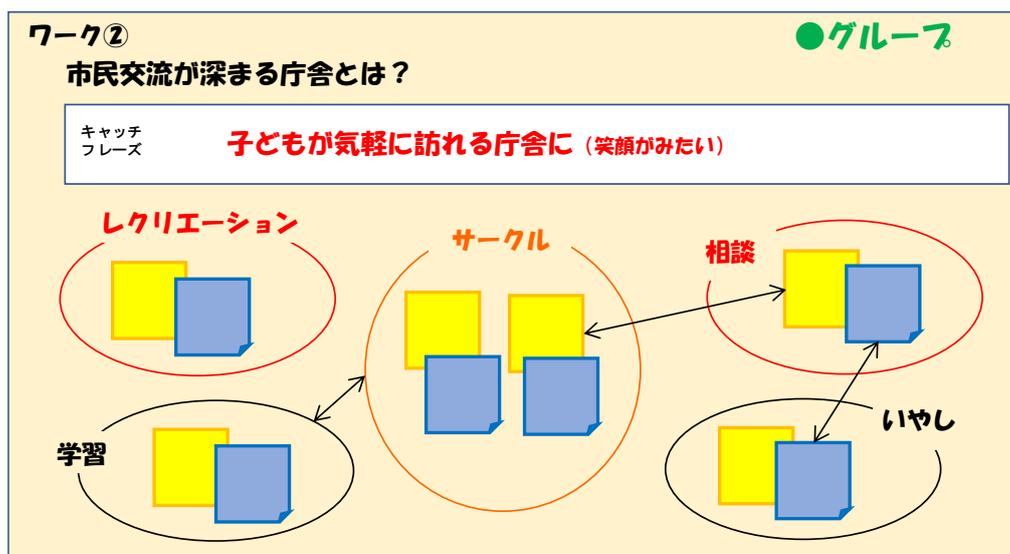
ワーク①：市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

- ・自分の意見を付箋紙に書きます。
「ひとづくり、まちづくりにつながる市民交流の取組み」（黄色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。



ワーク②：市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

- ・ワーク①を踏まえ、自分の意見を付箋紙に書きます。
「新庁舎でできたらいい、市民交流を深める取組み・活動・事業」（黄色の付箋紙）
「そのためにどのような空間（機能・場所・設備）が必要か」（青色の付箋紙）
- ・班のみなさんで付箋紙の内容を話し合い、同じような意見をグルーピングします。
- ・班のキャッチフレーズを作成します。



(2) 第3回ワークショップの様子

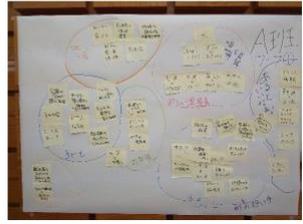
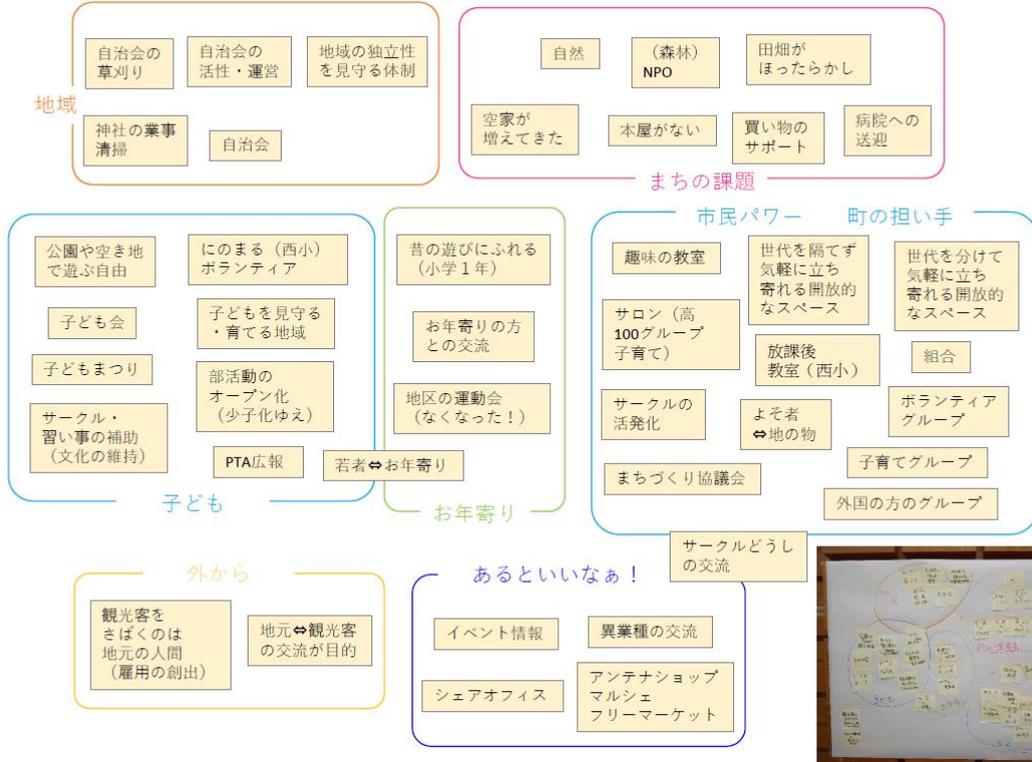
班	各班での検討の様子	各班からの発表の様子
A班		
B班		
C班		
D班		

(3) 第3回ワークショップの各班のとりまとめ結果

A班

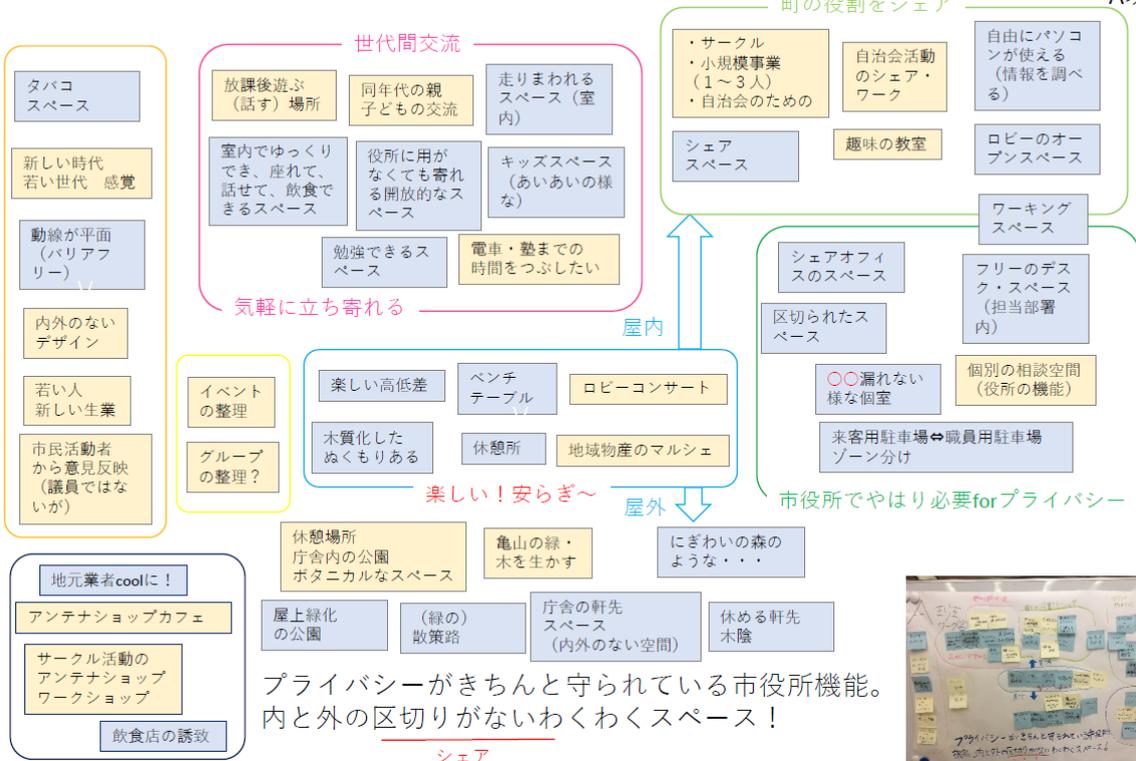
ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

A班



ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

A班



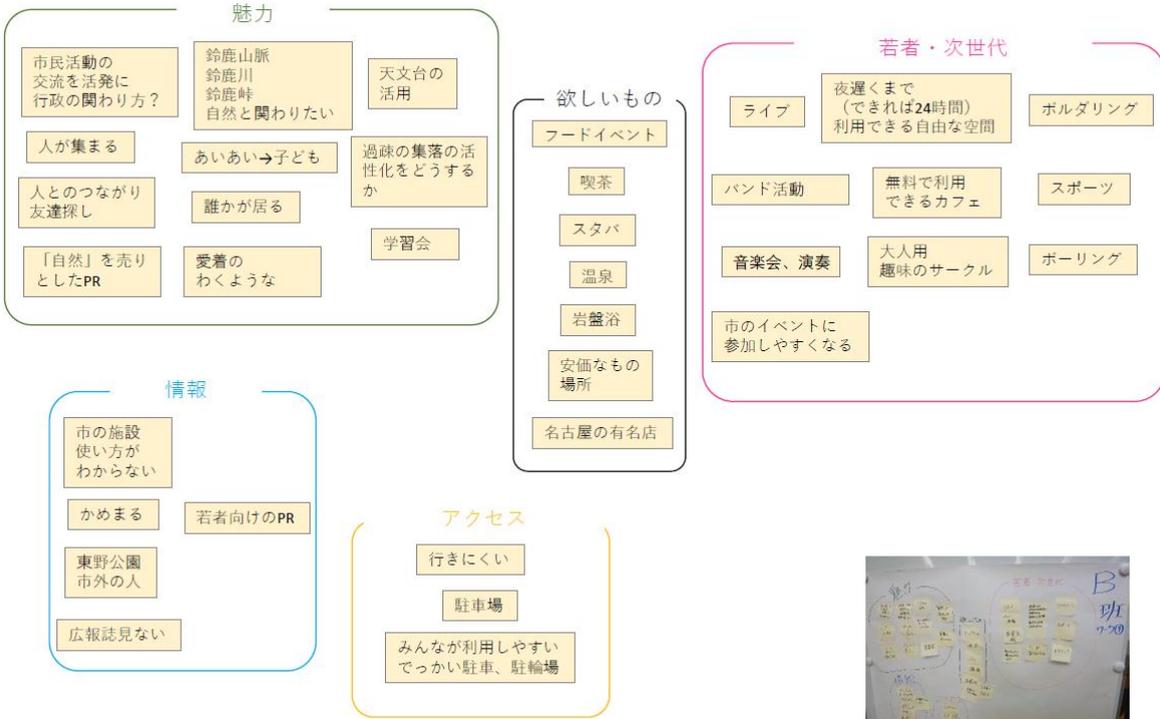
プライバシーがきちんと守られている市役所機能。内と外の区切りがないわくわくスペース！



B班

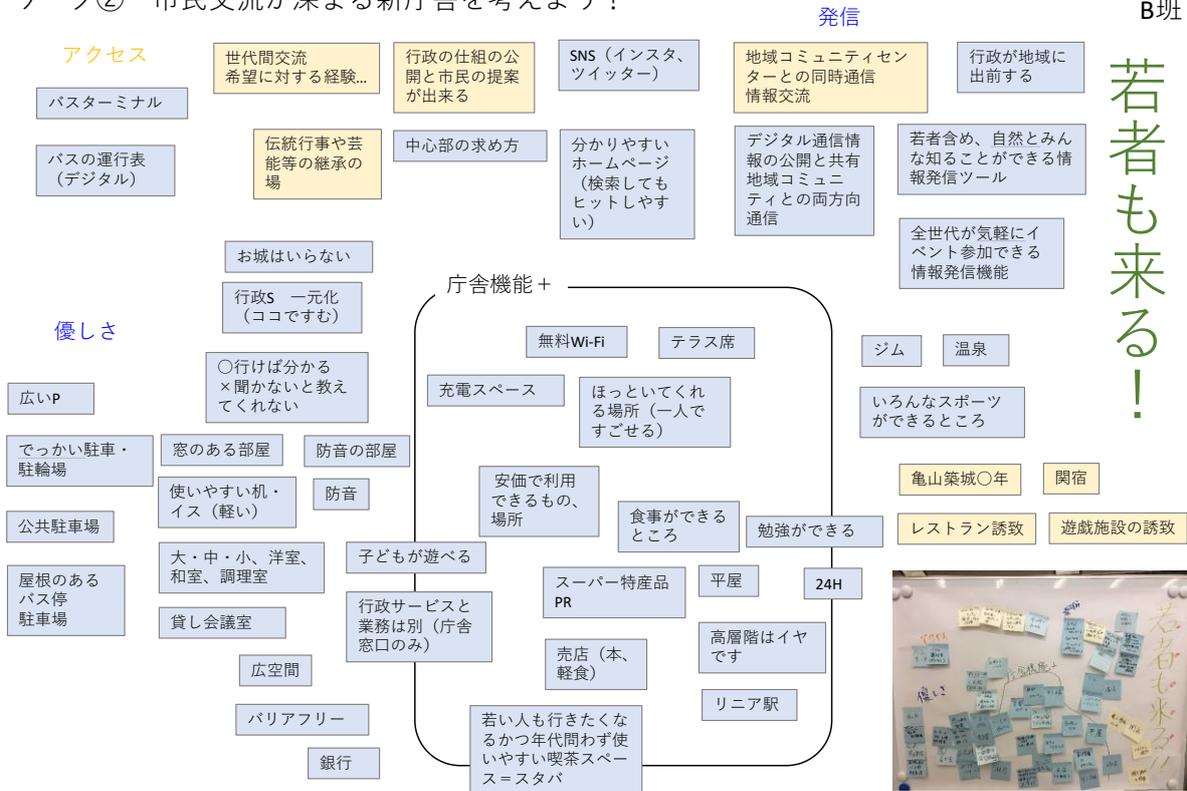
ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

B班

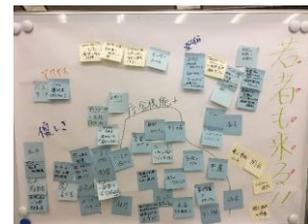


ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

B班



若者も来る！



C班

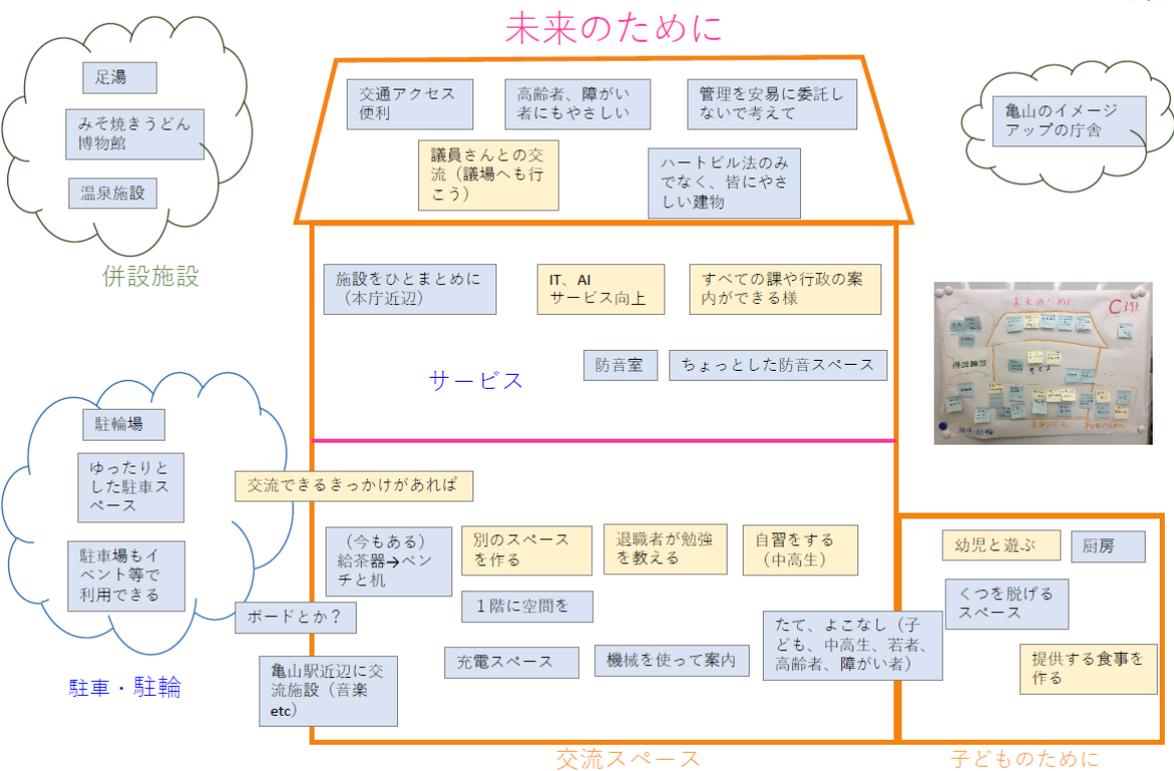
ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

C班



ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

C班

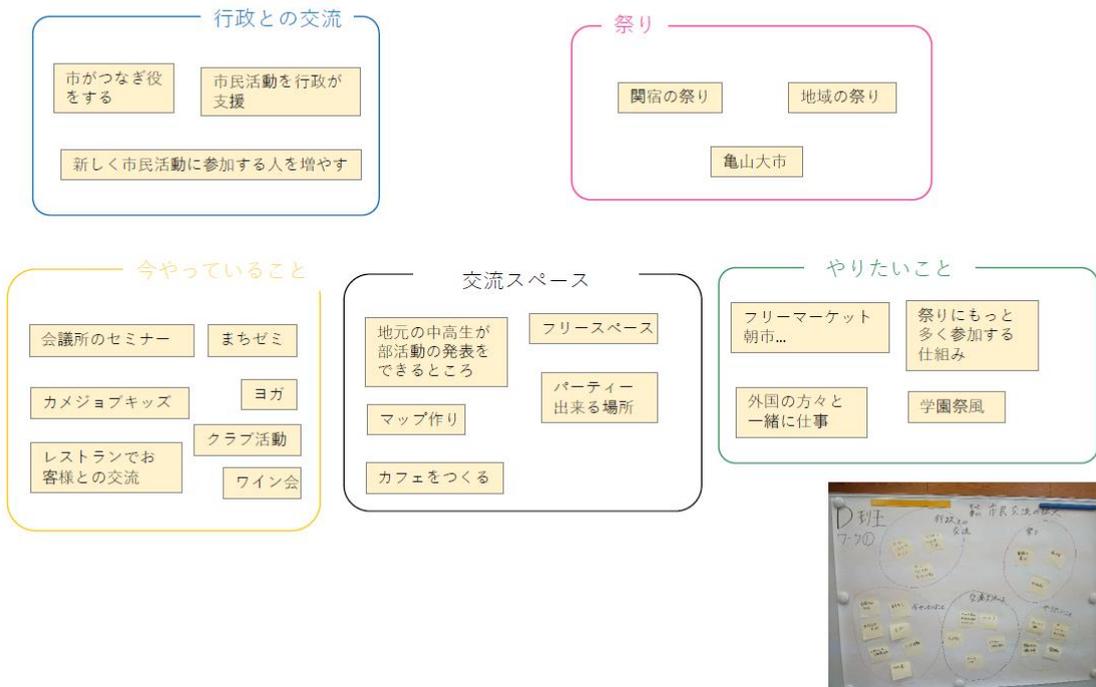


D班

ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

D班

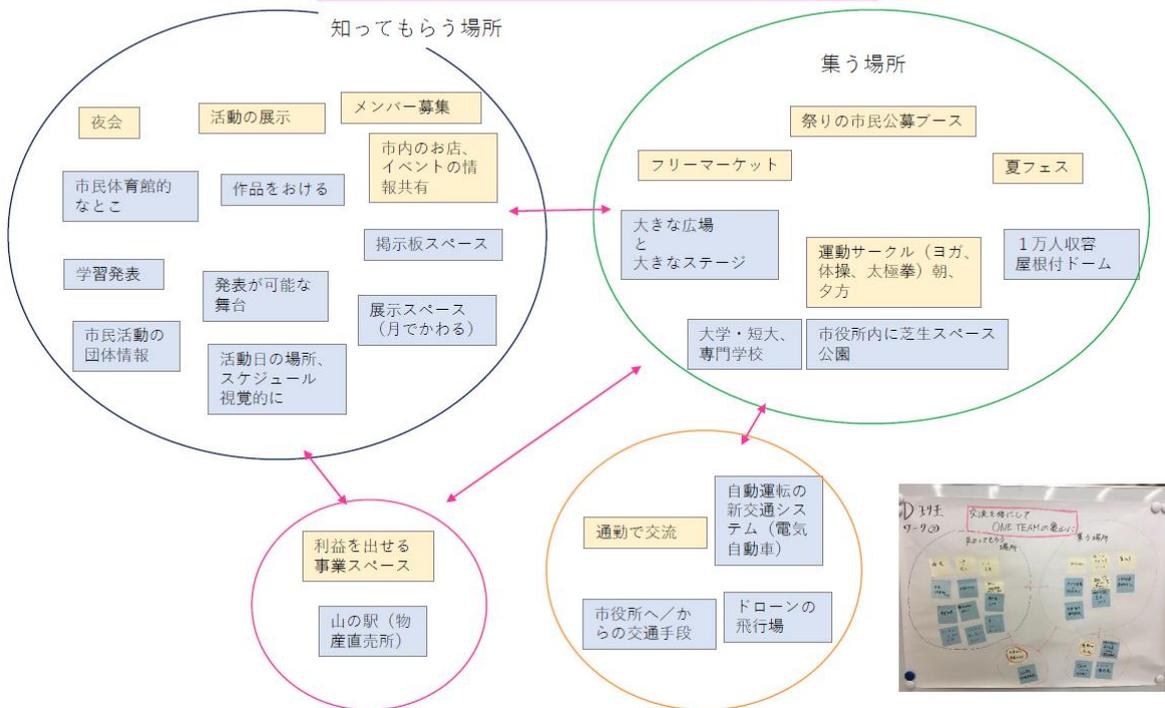
もっと楽しく市民交流の拡大



ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

D班

交流を倍にしてONE TEAMの亀山に



(4) 第3回ワークショップの有識者（小松 尚 名古屋大学大学院准教授）の講評



○全体講評

- ・ 本日はワークショップでの活発な議論をありがとうございました。3回すべてに参加していただいた方もおみえになり、各グループの議論がより深化していたと、そばで聞いていて感じました。
- ・ 市民の声を間近で聞くのは大変勉強になり、新しい発想のきっかけにもなります。この3回のワークショップでお聞かせいただいた内容は、検討委員会で確認・共有して、基本計画の策定に向け検討を深めていきたいと考えています。

○新庁舎整備に向けた今後の参画について

- ・ 新庁舎は、順調に整備が進んでも8年後の開庁となり、そこから長期で使用することになります。
- ・ 今から10年前を想像してみてください。2009年に現在の2019年の姿を想像できたでしょうか。スマートフォンがちょうど10年前くらいに普及し始め、生活シーンを大きく変えました。また、東日本大震災など大きな自然災害も発生し、防災意識もさらに高まっています。
- ・ 私たちも10年先、そしてさらにその先を見通して検討をしていきたいと思えます。そのために、今回のワークショップで終わりということではなく、色々な場で意見お聞きしたいと思いますし、皆様にも様々な検討の機会への参加をお願いします。
- ・ 今後も新庁舎整備の経過にご協力ください。

2-4-3 実施結果（とりまとめ）

第3回ワークショップにおいて整理された意見や提言、また参加者アンケートにみられる意見から、主な意見や提言をとりまとめます。

（1）市民力・地域力を高める市民交流（第3回ワークショップ）

○地域の活性化・魅力向上

- ・ 自治会の活性化
- ・ 地域の祭りの継承
- ・ 観光客誘致、案内するガイドの育成

○世代間・団体間交流・担い手の育成

- ・ 子どもから高齢者、外国人、障がいをもった方も受容するまち
- ・ ボランティア活動の活性化
- ・ 部活動のオープン化
- ・ 子どもの育成、見守り
- ・ 放課後教室（西小）
- ・ 子育てグループ、まちづくり協議会の活性化
- ・ 行政機関と市民との連携

○都市機能の強化

- ・ 耕作放棄地の解消
- ・ 森林整備（保全）
- ・ 空き家対策
- ・ 病院、商店等の整備（誘致）
- ・ シェアオフィス
- ・ IT技術の利活用
- ・ 駐車場の充実
- ・ 商業施設（スーパー、スポーツ施設、温泉、岩盤浴、飲食店・カフェ（有名店）など）

○イベント機能・スペースの強化

- ・ 趣味の教室やサロンスペース
- ・ 世代を分けて気軽に立ち寄れる開放的なスペース
- ・ サークルの活発化
- ・ アンテナショップ、マルシェ、フリーマーケット
- ・ 市内外から客をよべるイベントの実施・充実
- ・ 市民イベントの充実

○情報発信の強化

- ・ 若者向けの PR
- ・ 情報の公開と地域との両方向通信
- ・ 市外の人への情報発信強化
- ・ まち歩きマップの作成

(2) 市民交流が深まる新庁舎 (第3回ワークショップ)

どのようなことをするか	どのような空間が必要か
<p>○交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放課後遊ぶ (話す) 場所 ・ 同年代の親・子どもの交流 ・ 電車・塾までの時間調整 ・ 伝統行事や芸能等の継承の場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくりでき、座れて、話せて、飲食できるスペース ・ 開放的なスペース ・ バリアフリー、ユニバーサルデザイン ・ キッズスペース (あいあいの様な) ・ 学習スペース ・ 広い公園 (芝生がある公園) ・ 飲食スペース (カフェ等) ・ 商店 (スーパー、コンビニ、アンテナショップ等) ・ 公共交通機関の拠点 (バス停等) ・ 駐車場
<p>○趣味・サークル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロビーコンサート ・ 地域物産のマルシェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ オープンスペース (ステージがある) ・ 公共交通機関の拠点 (バス停等) ・ 駐車場
<p>○ビジネス拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ UIJ ターンの拠点 ・ 個別の相談空間 (役所の機能) ・ 自治会活動 ・ 行政へ市民の考えの提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自由にパソコンが使える (情報を調べる) ・ シェアオフィス ・ ワーキングスペース ・ フリーアクセスフロア ・ 打合せスペース ・ 公共交通機関の拠点 (バス停等) ・ 駐車場 ・ 情報発信ツールの充実
<p>○学術・スポーツの拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習や担い手育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学・短大・専門学校 ・ 1万人収容屋根付きドーム ・ ドローンの飛行場

2-5 参加者アンケートの結果

2-5-1 アンケートの概要

ワークショップの参加者を対象に、ワークショップ終了後、アンケートを実施しました。アンケートの設問は、次のとおりです。

【問1】 新庁舎建設「基本構想」について

- ・基本構想の説明を聞いて理解できましたか？

【問2】 ワーク①について

- ・自分の意見をしっかり発言できましたか？

【問3】 ワーク②について

- ・自分の意見をしっかり発言できましたか？

【問4】 市民ワークショップ全体について

- ・本日のワークショップの満足度を教えてください。
- ・今後、新庁舎の検討で、ワークショップなどの機会があれば参加したいと思いますか。

【問5】 その他ご意見があれば教えてください。

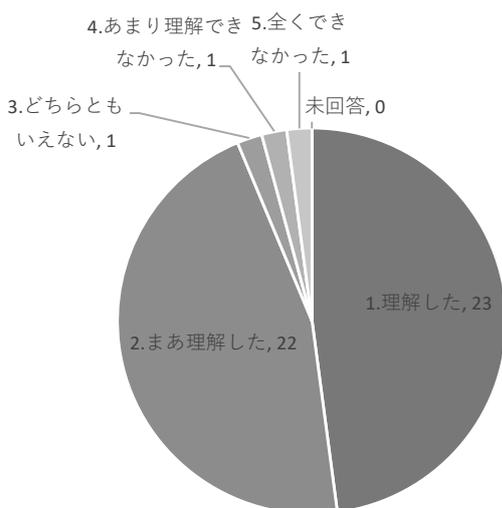
2-5-2 アンケートの結果

アンケートの集計結果は次のとおりです。

【問1】 新庁舎建設「基本構想」について

- ・基本構想の説明を聞いて理解できましたか？

- ・ 基本構想の理解度については、94%の参加者が理解された。
- ・ 基本構想を理解いただいた上で、ワークショップの運営が実施できた。

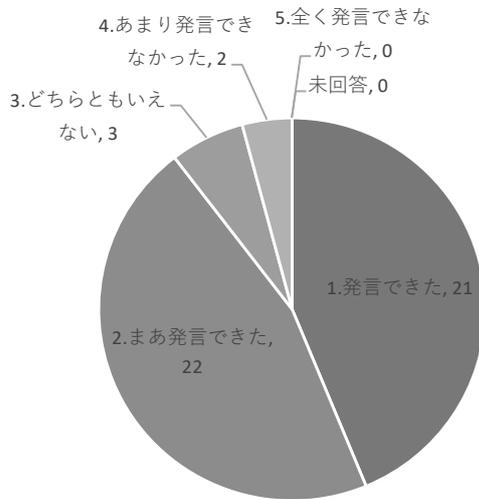


選択肢	回答数	割合
1.理解した	23	48%
2.まあ理解した	22	46%
3.どちらともいえない	1	2%
4.あまり理解できなかった	1	2%
5.全くできなかった	0	0%
未回答	0	0%
合計	48	100%

【問2】ワーク①について

- ・自分の意見をしっかり発言できましたか？

- ・ワーク①について、90%の参加者が発言できたと回答いただいた。
- ・参加者の発言を引き出せた運営が実施できた。



選択肢	回答数	割合
1. 発言できた	21	44%
2. まあ発言できた	22	46%
3. どちらともいえない	3	6%
4. あまり発言できなかった	2	4%
5. 全く発言できなかった	0	0%
未回答	0	0%
合計	48	100%

- ・其他のご意見があれば教えてください。

【第1回】ワーク① 新庁舎整備を契機に、将来のまちの姿を考えよう！

- ・ 亀山市役所は亀山駅前に。
- ・ 子供達に無理な借金を残さないように。将来のことを考えて建物の計画をしてほしい。高層になれば、維持、壊すときにもお金がかかる。
- ・ 商業、行政の地区を分けたらどうか。
- ・ 人口減少、高齢化に際して、スリム化。新しい視点で効率的な街づくりを進める。

【第2回】ワーク① 新庁舎でどんなことができると良いですか？

そのサービスはだれが担うべきですか？

- ・ 市民交流も必要ですが、庁舎だけが市民交流の場とは限らない。なんでも庁舎に引き入れるのではなく、老齢の方も近いところで交流できる場や市民サービスを近いところで受けられる拠点とか、集約だけでなく地域拠点化も考えて予算立てしてほしい。庁舎は市政全体のバランスを考えたものに。

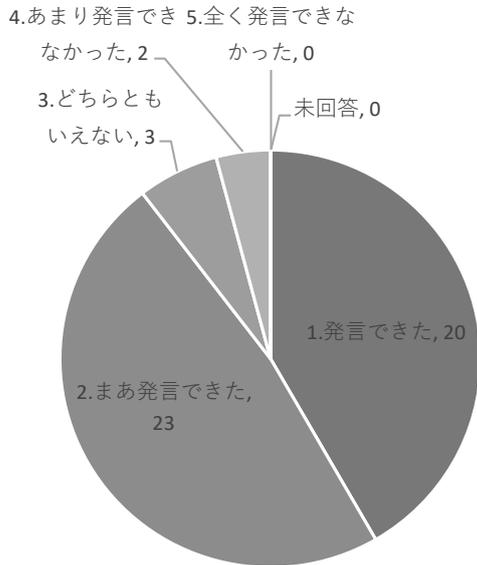
【第3回】ワーク① 市民力・地域力を高める市民交流を考えよう！

- ・ 自治会やPTA活動など、30年後には担い手がいなくなると思います。このような活動を進める機能のあり方そのものを考えていかなければと感じています。
- ・ 意見をまとめるために控えましたが、数十年の間に増えてきたイベント、グループを時々、整理・統合することによって、リフレッシュ、エンパワーメントできる、ということも提案しなかった。
- ・ 亀山市でなく鈴鹿市に。
- ・ リニア、関宿などの歴史と新旧どちらも魅力的な市、亀山。関連イベントで人は集まると思います。
- ・ PRも重要。

【問3】ワーク②について

・自分の意見をしっかり発言できましたか？

- ・ ワーク②について、90%の参加者が発言できたと回答いただいた。
- ・ 参加者の発言を引き出せた運営が実施できた。



選択肢	回答数	割合
1. 発言できた	20	42%
2. まあ発言できた	23	48%
3. どちらともいえない	3	6%
4. あまり発言できなかった	2	4%
5. 全く発言できなかった	0	0%
未回答	0	0%
合計	48	100%

・ 其他のご意見があれば教えてください。

【第1回】ワーク② 新庁舎の姿を考えよう！

- ・ 市民がよく出入りする市役所になってほしい。
- ・ リニア、大学、企業、商業施設の誘致。駅前開発等とも連携して進めてほしい。
- ・ 亀山駅での乗り継ぎが昔に比べて悪くなっているのを、時間をつぶせるスペース（無料）のある庁舎が兼ねられるとよい。
- ・ リノベーションの活用・進め方。

【第2回】ワーク② そのイメージに相応しいデザイン・環境整備は？

整備から運営まで、市民はどのように関わるべきですか？

- ・ 木造、低層。集約か分散かは適材適所で。

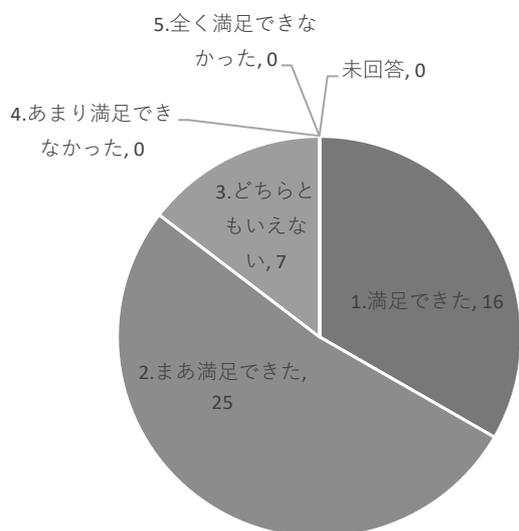
【第3回】ワーク② 市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

- ・ 合併は地方を疲弊させた。
- ・ 若者が気軽に寄れるスマホ関連設備（Wi-Fi環境など）。
- ・ 市民のための新庁舎になることを願っています。
- ・ 若者とベテランの交流ができるきっかけがあれば。

【問4】市民ワークショップ全体について

・ 本日のワークショップの満足度を教えてください。

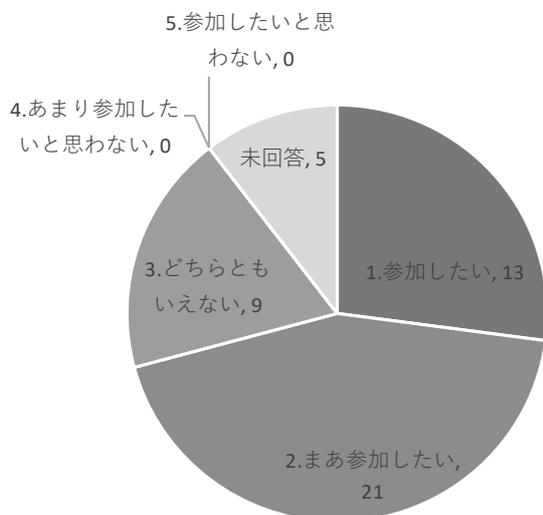
- ・ ワークショップの満足度について、85%の参加者が満足できたと回答いただいた。
- ・ 参加者の思いを引き出せた適切な運営が実施できた。



選択肢	回答数	割合
1. 満足できた	16	33%
2. まあ満足できた	25	52%
3. どちらともいえない	7	15%
4. あまり満足できなかった	0	0%
5. 全く満足できなかった	0	0%
未回答	0	0%
合計	48	100%

・ 今後、新庁舎の検討で、ワークショップなどの機会があれば参加したいと思いますか。

- ・ 参加意向について、71%の参加者が参加したいと回答いただいた。
- ・ 概ね次回につながる運営が実施できた。



選択肢	回答数	割合
1. 参加したい	13	27%
2. まあ参加したい	21	44%
3. どちらともいえない	9	19%
4. あまり参加したいと思わない	0	0%
5. 参加したいと思わない	0	0%
未回答	5	10%
合計	48	100%

【問5】 その他ご意見があれば教えてください。

【第1回】 ◆亀山の将来像、新庁舎の姿を考えよう！

- ・ グループワークも楽しくできましたが、ワーク前にアイスブレイクの場があればよかったかと思えます。
- ・ 最後の講評を聞いて、リノベーションもありと思いました。新しくお金を使うことだけでなく財政にあった方法もあります。
- ・ 伊勢市駅前のような駅前開発とも兼ねながら庁舎を計画してほしい。高層でない方がよいと思う。
- ・ 講評がわかりやすくよかった。具体的なイメージがうかびやすい。
- ・ グループの方に恵まれて、自由に意見を言えて楽しかったです。ありがとうございました。

【第2回】 ◆新庁舎整備に対するあなたの提案をお聞かせください！

- ・ 第1回と似た内容があり、あまり進んだ感じがしなかった。
- ・ ワークショップを行うにあたってのルールをつくってからするべきだと思う。

【第3回】 ◆市民交流が深まる新庁舎を考えよう！

- ・ 参加者は高齢の人が多く思っていたら、若い人が多くてびっくりした。事務局の呼びかけ方がうまいと感心しました。おかげで楽しいやりとりができました。
- ・ 子ども世代に優しい仕組み、場所にも目を向けてほしい（金銭面でも）。
- ・ 第1、2回に参加できなかったこと。旧庁舎の再活用の検討、地域エネルギー、市民電力の検討、庁舎内外の建築・仕器の木質化。
- ・ 市民の多くの意見を集約する方法は別に考えるべき。
- ・ 参加者の集め方に疑問。
- ・ 3回参加し、いろんな考えをもちました。分散型、集約型、そもそもどちらがよいか。分散型の方が便利（市民にとって）ではないか。また、新築が必要か。IT化で職員が減れば、本庁は減築し改修（伊賀市・愛農学園農業高等学校）のように。あいあいや関支所は、まだまだ使えるので、改修で使用する。使わなくなった学校が、できたら改修して利用するなど、新築が本当によいか疑問である（子どもに負の遺産を与えないでほしい）。

3 グループインタビュー

3-1 実施概要

グループインタビューの実施概要は、次のとおりです。

参加者	市内の中学校3校と亀山高校の生徒から、参加者を各校で選抜
実施日	令和元年10月17日(木)・23日(水)・30日(水)、11月6日(水)
実施方法	学校単位で、市から現庁舎の状況などを説明した後に意見聴取し、生徒が意見をインタビューワークシートに記入(事前記入もあり)
参加者数	41人
提出者数	38人(インタビューワークシートの提出者数)

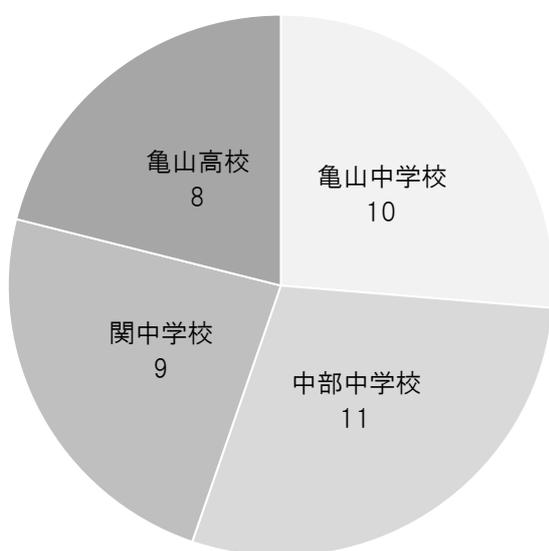
3-2 実施内容

以下は、参加者のうち、インタビューワークシートの提出があった生徒 38 人の回答や意見を取りまとめたものです。

また、参加者は自由記述形式で意見を記述していますが、後半の集計は、平成 30 年 6～7 月に実施した「市民アンケート調査」(18 歳以上を対象)と傾向を比較するため、自由記述を同アンケート調査の選択肢に置き換えて集計しています。

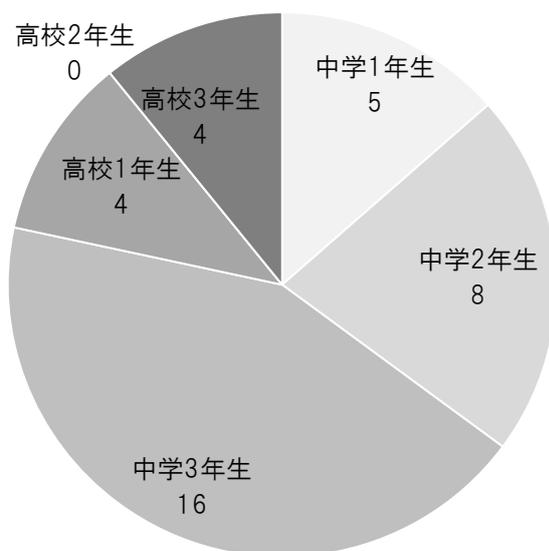
(1) 参加者属性

ア 学校



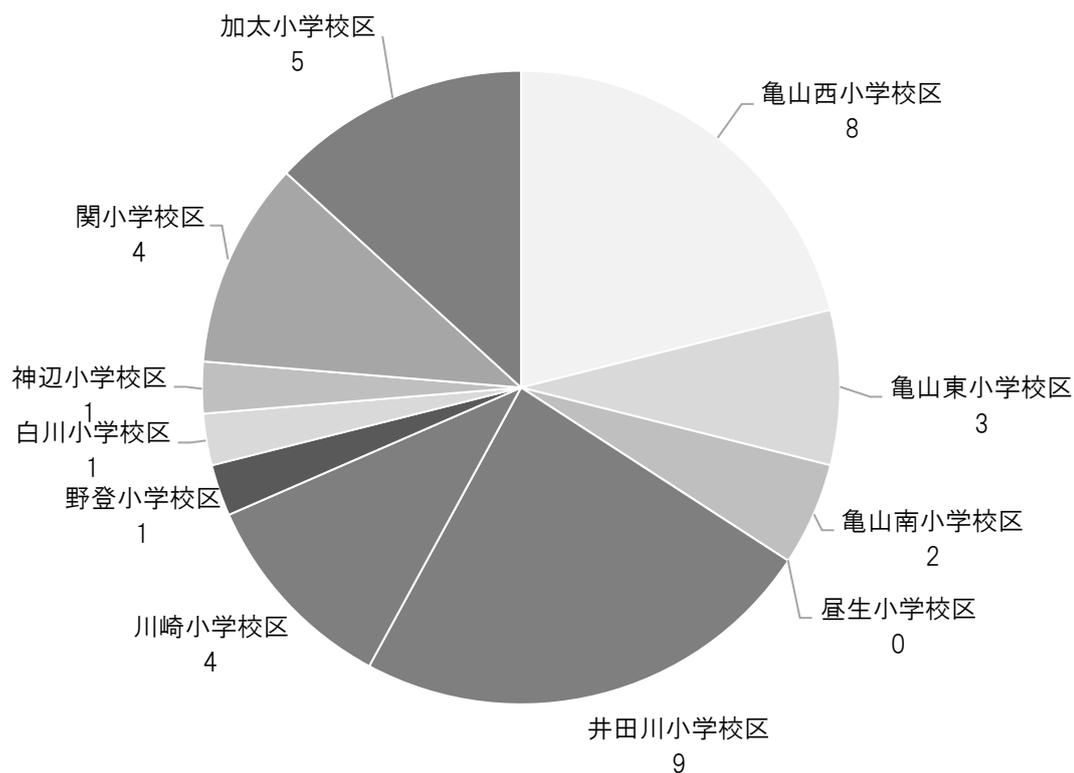
選択肢	回答数	割合
亀山中学校	10	26.3%
中部中学校	11	28.9%
関中学校	9	23.7%
亀山高校	8	21.1%
合計	38	100.0%

イ 学年



選択肢	回答数	割合
中学1年生	5	13.5%
中学2年生	8	21.6%
中学3年生	16	43.2%
高校1年生	4	10.8%
高校2年生	0	0.0%
高校3年生	4	10.8%
合計	37	100.0%

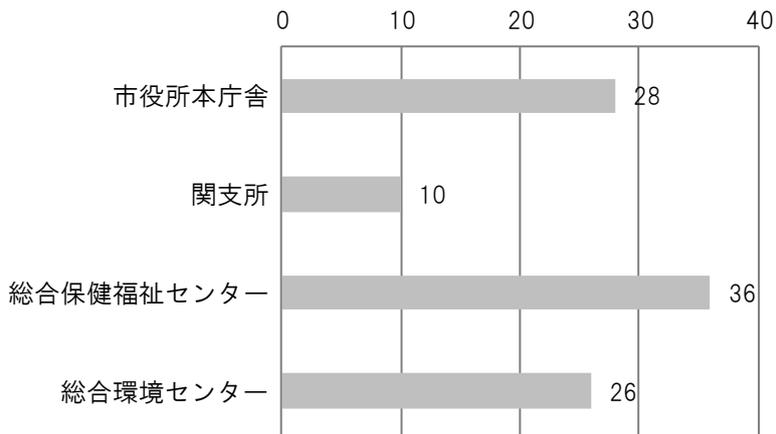
ウ 居住地



選択肢	回答数	割合
亀山西小学校区	8	21.1%
亀山東小学校区	3	7.9%
亀山南小学校区	2	5.3%
昼生小学校区	0	0.0%
井田川小学校区	9	23.7%
川崎小学校区	4	10.5%
野登小学校区	1	2.6%
白川小学校区	1	2.6%
神辺小学校区	1	2.6%
関小学校区	4	10.5%
加太小学校区	5	13.2%
合計	38	100.0%

エ 来庁経験の有無

問 次の建物で行ったことがあるものに○をつけてください。(○はいくつでも)



選択肢	回答数	割合
市役所本庁舎	28	73.7%
関支所	10	26.3%
総合保健福祉センター	36	94.7%
総合環境センター	26	68.4%
合計	38	

- ・95%の生徒が総合保健福祉センター（あいあい）への来庁経験がある。
- ・市役所本庁舎、総合環境センターへは7割程度の生徒が来庁している。
- ・関支所への来庁経験は少なく、今回参加した中部中学校、亀山高校の生徒は関支所への来庁経験がない。

オ 現在の市役所のことを聞いて、見て感じたこと

問 今の市役所のことを聞いてまたは写真を見て、どのように感じましたか。（自由記述）

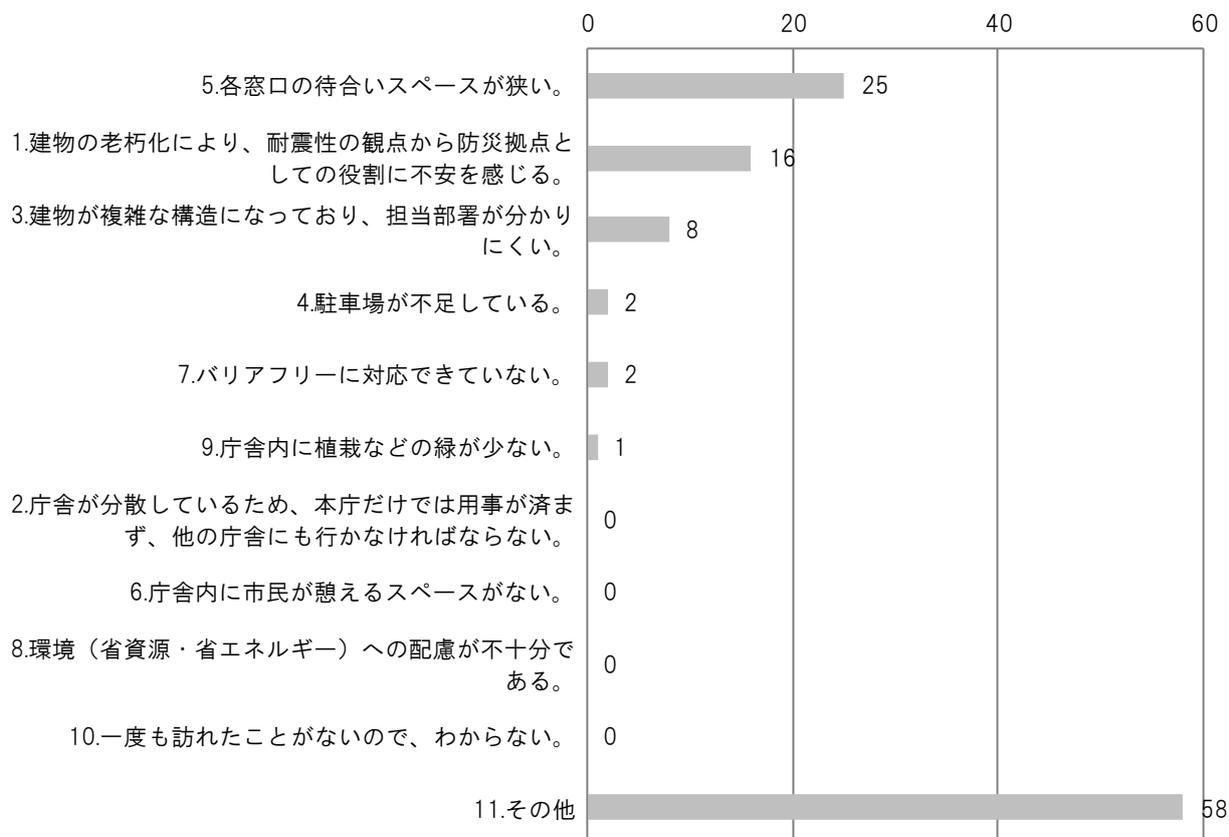
区分		項目	意見数
機能	市民サービス	駐車場が狭くて使いづらい	1
	機能・アクセス	駐輪場の場所がわからない	1
	執務機能	職員にとって不便、働きづらい	22
	交流機能	行きたいと思わない、入りづらい	6
	情報発信機能	亀山市の中心としてふさわしくない	1
性能	安全性	老朽化している、耐震性に不安を感じる	16
		設備が整っていない、危険な設備がある	4
	環境性	緑がない	1
	快適性	通路や部屋が狭い、ごちゃごちゃしている	25
		暗い、怖い	17
		来庁者にとって不便、行き先がわかりにくい	8
		開放感がない、圧迫感がある、堅苦しそう	5
		温かみがない、無機質	3
バリアフリーに対応できていない	2		
		合計	112

- ・「通路や部屋が狭い、ごちゃごちゃしている」（快適性）という意見が最も多い。
- ・収納スペースの少なさや、通路や部屋が狭いことに関連して「職員にとって不便、働きづらい」（執務機能）という意見が次に多い。
- ・「暗い、怖い」（快適性）、「老朽化している、耐震性に不安を感じる」（安全性・耐震性）、「来庁者にとって不便、行き先がわかりにくい」（利便性）という意見も多い。
- ・このほかに、イメージとして、「行きたいと思わない、入りづらい」（交流機能）、「開放感がない、圧迫感がある、堅苦しそう」（快適性）、「温かみがない、無機質」（快適性）といったイメージや印象に関する意見がみられる。

(参考) 市民アンケート調査の選択肢による集計

問 今の市役所のことを聞いてまたは写真を見て、どのように感じましたか。(自由記述)

選択肢	意見数	割合
1.建物の老朽化により、耐震性の観点から防災拠点としての役割に不安を感じる。	16	14.3%
2.庁舎が分散しているため、本庁だけでは用事が済まず、他の庁舎にも行かなければならない。	0	0.0%
3.建物が複雑な構造になっており、担当部署が分かりにくい。	8	7.1%
4.駐車場が不足している。	2	1.8%
5.各窓口の待合いスペースが狭い。	25	22.3%
6.庁舎内に市民が憩えるスペースがない。	0	0.0%
7.バリアフリーに対応できていない。	2	1.8%
8.環境(省資源・省エネルギー)への配慮が不十分である。	0	0.0%
9.庁舎内に植栽などの緑が少ない。	1	0.9%
10.一度も訪れたことがないので、わからない。	0	0.0%
11.その他	58	51.8%
合 計	112	100.0%

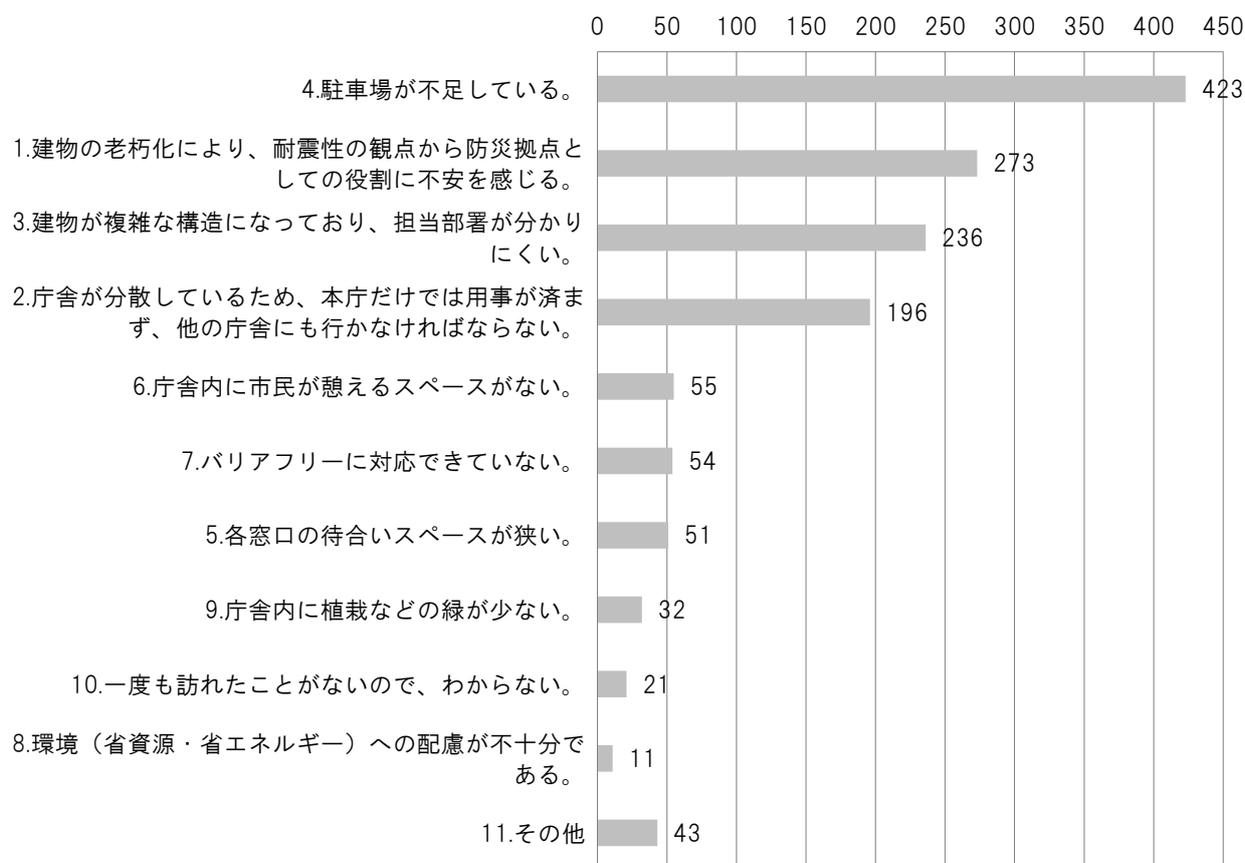


(参考) 平成 30 年度に実施した市民アンケートの集計結果

問 現在の市役所庁舎の状況に問題点をお感じでしょうか。

(あてはまるもの3つまで○をつけてください)

選択肢	回答数	割合
1.建物の老朽化により、耐震性の観点から防災拠点としての役割に不安を感じる。	273	19.57%
2.庁舎が分散しているため、本庁だけでは用事が済まず、他の庁舎にも行かなければならない。	196	14.05%
3.建物が複雑な構造になっており、担当部署が分かりにくい。	236	16.92%
4.駐車場が不足している。	423	30.32%
5.各窓口の待合いスペースが狭い。	51	3.66%
6.庁舎内に市民が憩えるスペースがない。	55	3.94%
7.バリアフリーに対応できていない。	54	3.87%
8.環境（省資源・省エネルギー）への配慮が不十分である。	11	0.79%
9.庁舎内に植栽などの緑が少ない。	32	2.29%
10.一度も訪れたことがないので、わからない。	21	1.51%
11.その他	43	3.08%
合 計	1,395	100.00%



- ・「2」「3」「4」「5」の現在の市役所の機能面に問題を感じている割合が最も高くなっている。
- ・「1」の防災拠点としての役割に不安を感じている割合も高くなっている。

カ 新庁舎で重視すべきこと

問 新しく庁舎を建てる時に何が大事だと思いますか。(自由記述)

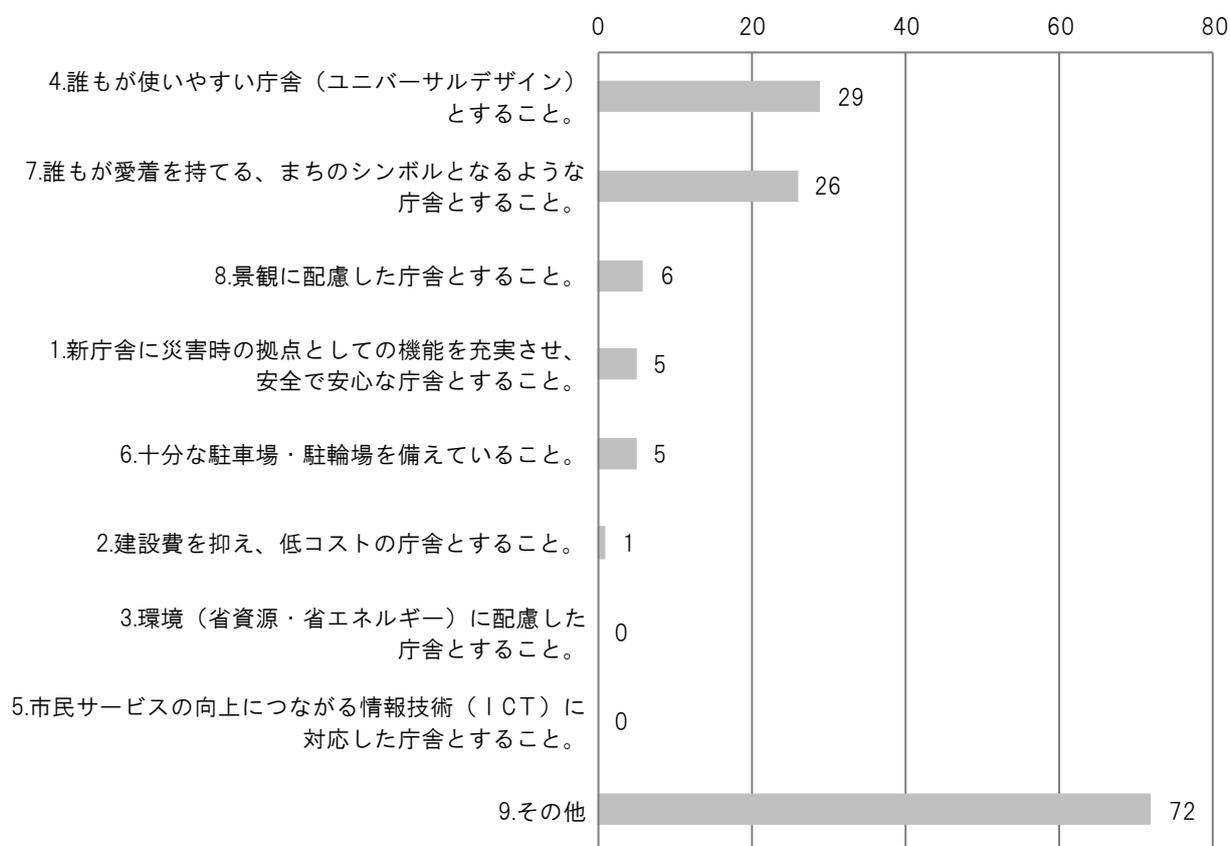
区分		項目	意見数
機能	防災拠点機能	災害に強い、防災拠点機能	5
	市民サービス 機能・窓口	待合スペースの充実	4
		分かりやすさ	2
		来庁者への対応	1
	市民サービス 機能・アクセス	利用しやすい駐車場・駐輪場	5
		アクセスのしやすさ	4
	執務機能	職員の働きやすさ	11
		職員の事務の効率化	1
	交流機能	明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり	26
		市民が交流できるスペース	1
		展示スペース	1
	情報発信機能	デザイン、シンボル性	6
亀山らしさ(特産品、木質)		2	
性能	経済性	経済性、税金の無駄遣いとならないように	1
	環境性	環境への配慮	2
		緑	2
	快適性	バリアフリー、ユニバーサルデザイン	29
		広さ、開放感	12
		設備の充実(トイレ、空調、エレベーター、セキュリティ)	7
		清潔感	6
		子育て世代への配慮(キッズスペース、保育所)	3
		快適性	1
	利便性	憩い・利便施設(公園、展望室、カフェ、自習室、本屋)	11
子育て世代への配慮(キッズスペース、保育所)		3	
その他	その他	様々なことへの配慮	1
合計			144

- ・「バリアフリー、ユニバーサルデザイン」(快適性)という意見が最も多い。
- ・「明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり」(交流機能)という意見が次に多い。
- ・「広さ、開放感」(快適性)、「職員の働きやすさ」(執務機能)、「憩い・利便施設(公園、展望室、カフェ、自習室、本屋)」(利便性)という意見も多い。

(参考) 市民アンケート調査の選択肢による集計

問 新しく庁舎を建てる時に何が大事だと思いますか。(自由記述)

選択肢	意見数	割合
1.新庁舎に災害時の拠点としての機能を充実させ、安全で安心な庁舎とすること。	5	3.5%
2.建設費を抑え、低コストの庁舎とすること。	1	0.7%
3.環境(省資源・省エネルギー)に配慮した庁舎とすること。	0	0.0%
4.誰もが使いやすい庁舎(ユニバーサルデザイン)とすること。	29	20.1%
5.市民サービスの向上につながる情報技術(ICT)に対応した庁舎とすること。	0	0.0%
6.十分な駐車場・駐輪場を備えていること。	5	3.5%
7.誰もが愛着を持てる、まちのシンボルとなるような庁舎とすること。	26	18.1%
8.景観に配慮した庁舎とすること。	6	4.2%
9.その他	72	50.0%
合 計	144	100.0%

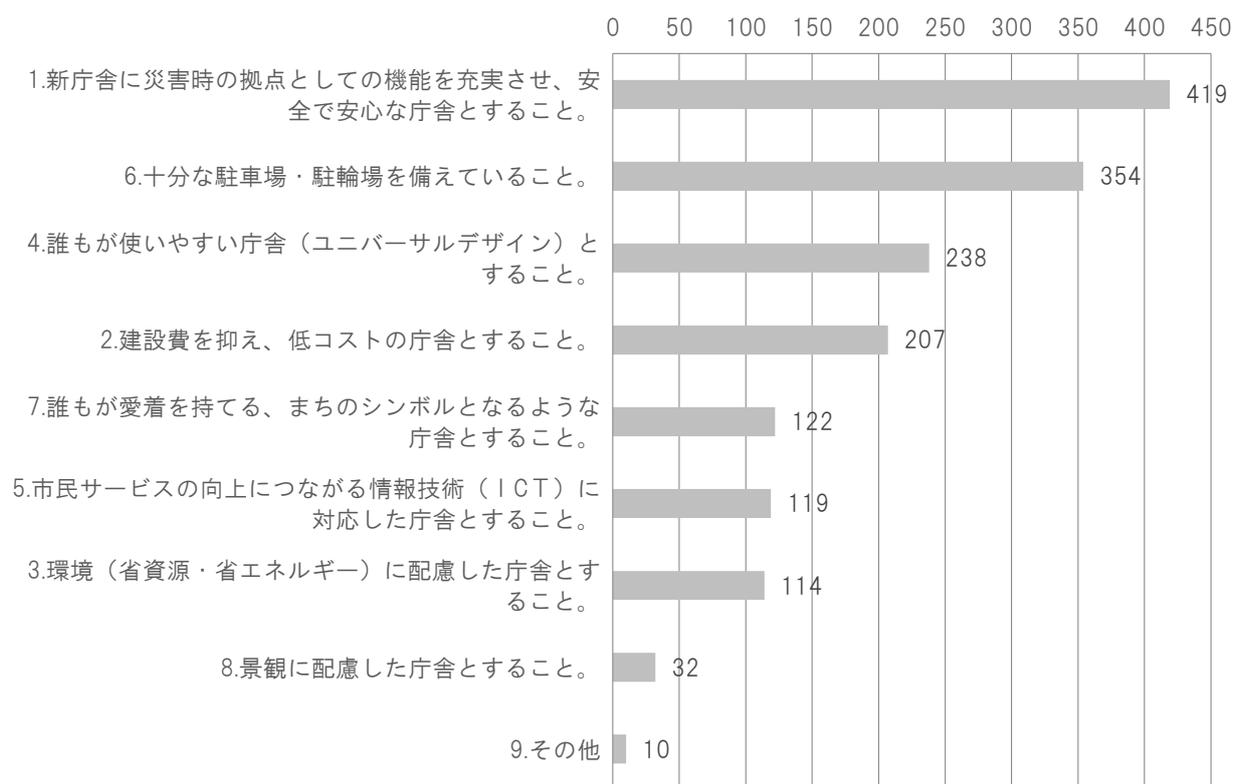


(参考) 平成 30 年度に実施した市民アンケートの集計結果

問 新庁舎の建設にあたって、重視すべきことは何ですか。

(あてはまるもの3つまで○をつけてください)

選択肢	回答数	割合
1.新庁舎に災害時の拠点としての機能を充実させ、安全で安心な庁舎とすること。	419	25.94%
2.建設費を抑え、低コストの庁舎とすること。	207	12.82%
3.環境（省資源・省エネルギー）に配慮した庁舎とすること。	114	7.06%
4.誰もが使いやすい庁舎（ユニバーサルデザイン）とすること。	238	14.74%
5.市民サービスの向上につながる情報技術（ICT）に対応した庁舎とすること。	119	7.37%
6.十分な駐車場・駐輪場を備えていること。	354	21.92%
7.誰もが愛着を持てる、まちのシンボルとなるような庁舎とすること。	122	7.55%
8.景観に配慮した庁舎とすること。	32	1.98%
9.その他	10	0.62%
合 計	1,615	100.00%



- ・「1」の災害時の拠点としての割合が最も高くなっている。
- ・「6」の駐車場・駐輪場の充実に関する項目が次に高くなっている。
- ・「4」の誰もが使いやすい庁舎に対するニーズも高くなっている。

キ 新庁舎の建設場所

問 どんなところに建てるのがよいと思いますか。（自由記述）

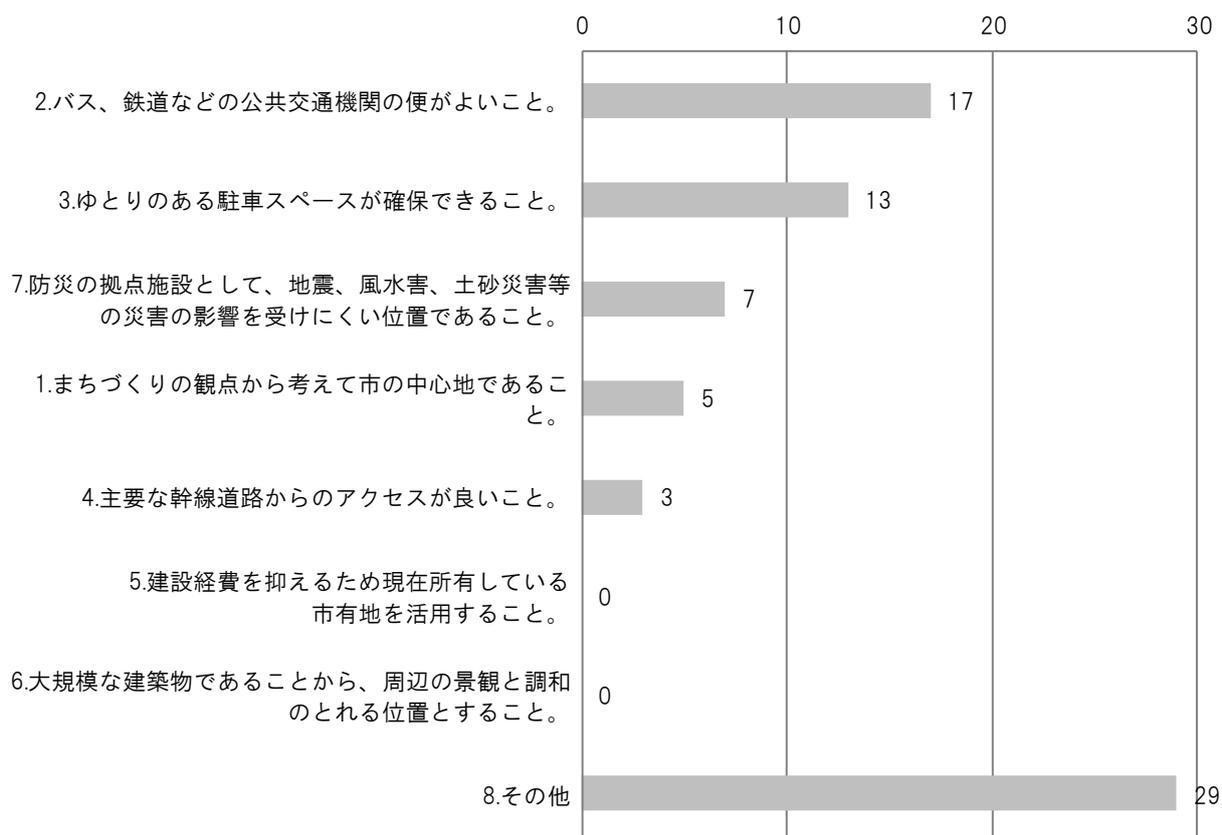
項目	意見数
バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいところ	17
広いところ、ゆとりのある駐車スペースが確保できるところ	13
アクセスの観点から考えて市の中心地	10
地震、風水害、土砂災害等の災害の影響を受けにくいところ	7
まわりから分かりやすいところ	9
まちづくりの観点から考えて市の中心地	5
学校、利便施設の近く	5
主要な幹線道路からのアクセスが良いところ	3
現庁舎のあるところ、亀山城跡の近く	3
大規模な建築物であることから、周辺の景観と調和のとれるところ	1
静かで落ち着いたところ	1
夢のあるところ	1
合計	75

- ・「バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいところ」という意見が最も多い。
- ・「広いところ、ゆとりのある駐車スペースが確保できるところ」という意見が次に多い。
- ・「市の真ん中」、「加太・井田川からも遠くないところ」といった「アクセスの観点から考えて市の中心地」という意見も多い。
- ・視認性や「亀山といえば〇〇」といった「まわりから分かりやすいところ」という意見も多い。

(参考) 市民アンケート調査の選択肢による集計

問 どんなところに建てるのがよいと思いますか。(自由記述)

選択肢	意見数	割合
1.まちづくりの観点から考えて市の中心地であること。	5	6.8%
2.バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいこと。	17	23.0%
3.ゆとりのある駐車スペースが確保できること。	13	17.6%
4.主要な幹線道路からのアクセスが良いこと。	3	4.1%
5.建設経費を抑えるため現在所有している市有地を活用すること。	0	0.0%
6.大規模な建築物であることから、周辺の景観と調和のとれる位置とすること。	0	0.0%
7.防災の拠点施設として、地震、風水害、土砂災害等の災害の影響を受けにくい位置であること。	7	9.5%
8.その他	29	39.2%
合 計	74	100.0%

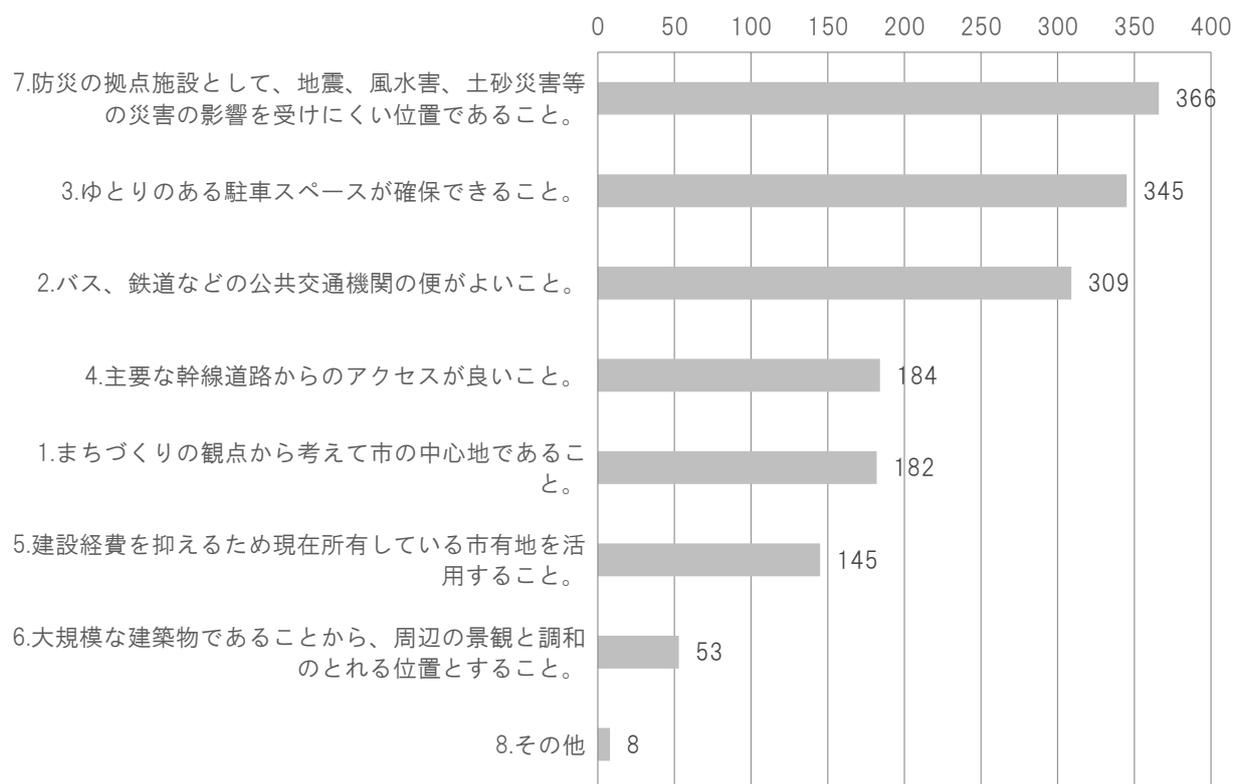


(参考) 平成 30 年度に実施した市民アンケートの集計結果

問 新庁舎の建設候補地を考える上で、重要と思われる項目を選んでください。

(あてはまるもの3つまで○をつけてください)

選択肢	回答数	割合
1.まちづくりの観点から考えて市の中心地であること。	182	11.43%
2.バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいこと。	309	19.41%
3.ゆとりのある駐車スペースが確保できること。	345	21.67%
4.主要な幹線道路からのアクセスが良いこと。	184	11.56%
5.建設経費を抑えるため現在所有している市有地を活用すること。	145	9.11%
6.大規模な建築物であることから、周辺の景観と調和のとれる位置とすること。	53	3.33%
7.防災の拠点施設として、地震、風水害、土砂災害等の災害の影響を受けにくい位置であること。	366	22.99%
8.その他	8	0.50%
合 計	1,592	100.00%



- ・「7」の防災の拠点施設としての割合が最も高くなっている。
- ・「3」のゆとりある駐車スペースに関する項目が次に高くなっている。
- ・「2」の公共交通機関に対するニーズも高くなっている。

3-2 実施結果（とりまとめ）

グループインタビュー、インタビューワークシートから、主な意見を取りまとめます。

グループインタビューでの主な意見

（１）現在の市役所のことを聞いて、見て感じたこと

- ・ 通路や部屋が狭い、ごちゃごちゃしている
- ・ 職員にとって不便、働きづらい
- ・ 暗い、怖い
- ・ 老朽化している、耐震性に不安を感じる
- ・ 来庁者にとって不便、行き先がわかりにくい
- ・ 行きたいと思わない、入りづらい
- ・ 開放感がない、圧迫感がある、堅苦しそう
- ・ 温かみがない、無機質

（２）新庁舎で重視すべきこと

- ・ バリアフリー、ユニバーサルデザイン
- ・ 明るく、親しみやすく、気軽に行ける雰囲気づくり
- ・ 広さ、開放感
- ・ 職員の働きやすさ
- ・ 憩い・利便施設（公園、展望室、カフェ、自習室、本屋）

（３）新庁舎の建設場所

- ・ バス、鉄道などの公共交通機関の便がよいところ
- ・ 広いところ、ゆとりのある駐車スペースが確保できるところ
- ・ 市の真ん中、加太・井田川からも遠くないところ
- ・ 亀山といえば〇〇といったまわりから分かりやすいところ

3-3 インタビューシート集計結果

質問2 次の建物で行ったことがあるものに○をつけてください。

全体

1.市役所本庁舎	28	2.関支所	10	3.総合保健福祉センター	36
4.総合環境センター	26				

亀山中学校

1.市役所本庁舎	6	2.関支所	3	3.総合保健福祉センター	9
4.総合環境センター	7				

中部中学校

1.市役所本庁舎	10	2.関支所	0	3.総合保健福祉センター	10
4.総合環境センター	7				

関中学校

1.市役所本庁舎	4	2.関支所	7	3.総合保健福祉センター	9
4.総合環境センター	7				

亀山高校

1.市役所本庁舎	8	2.関支所	0	3.総合保健福祉センター	8
4.総合環境センター	5				

質問3 今の市役所のことを聞いてまたは写真を見て、どのように感じましたか。

学校	回答
亀山中学校	・職員の人だけでなく、市役所に来る人にとっても不便なところがあると思った。
亀山中学校	・せまきのせいで、すごく仕事などの効率が悪くなっていると思う。 ・くらくてせまくて、市民の人は市役所に行きたいと思わないと思う。
亀山中学校	・大事なときにすぐでられないのはいけないと思い、改善が必要だと思いました。
亀山中学校	・働く人が働きづらく、来る人もどこで何ができるのかが明確でないし、雰囲気くらい。そんな市役所であってはいけない。
亀山中学校	・設備が整っていないくて、危険な場所があるなどと思いました。
亀山中学校	・建物内が狭くて、社員さんたちはとても働きづらかったです。
亀山中学校	・仕事に集中できなさそう。
亀山中学校	・事務所だったら、仕事に集中しやすいように、もっと改善したりした方がいいなど思いました。
亀山中学校	・もう少しスペースを広くしたり、1つ1つの場所に工夫がされているといいなど感じました。 ・お客さんが来たときに、動きづらいくちごちゃごちゃしてしまうのかなと感じました。
亀山中学校	・他のところはカーペットなので温かみがある。 ・新しくなると、働く人もやる気が湧くし、来る人も行ってみようかなってなると思う。
関中学校	・暗い、ボロい、狭い、ごちゃごちゃしている。 ・狭い、他の市役所と比べて開放感がない。 ・ごちゃごちゃしている。まよいそう。

学校	回答
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・さびた配管はよくないと思った。 ・待合スペースはもっと利用しやすい方がよい。 ・せまい
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事がしにくそう、暗い、緑がない。 ・車いすの方が入りにくそう。 ・配線はからまると危ないと思います。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ボロボロ ・色あいなど暗い感じがした。長時間滞在するのは嫌だなと思った。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・これが亀山市の中心かと思うとショック ・使いにくそうな感じ ・何がどこにあるのか分かりづらい。 ・暗くて入りにくい。 ・開放感がない。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・使いにくそう。 ・全体的にせまそう。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い、怖い、古い、かたくるしそう。 ・暗い。かたくるしい感じがする。 ・せまい。来たいとはあまり思わない（相談とか）。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をするのも、やりにくそう。 ・お客さんが来ても、少し通りにくそうだし、もっと明るくした方がいいと思う。 ・古く感じる。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・古く感じた。いつこわれてもおかしくない。使いにくそう（通りにくい）。 ・すごく使いにくそう ・仕事がやりづらそう ・あたたみがない。 ・せまい
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に暗い ・せまい所が多い ・今すぐにくずれそう
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に来る人も市役所で働く人も使いづらそうだなという印象を受けました。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・古さを感じる（色々な箇所）。 ・物やコードなどで、道がすごくせまいので、人が歩きにくいと思う。 ・暗さがある。もっと明るさを入れてもいいと思う。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・古い ・せまい ・じしんでくずれそう ・線がぐちゃぐちゃなのでひっかかったり、こける。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所で働く人にとっても利用する人にとっても、不便な部分が多い。 ・また、地震などの災害が起こったときに利用できなかつたり、ヒビが入っているので建物が壊れてしまうかもしれないという不安。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山の全てをつかさどる場所なのに、せまくて職員の人たちも仕事がしづらそう。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・とても不便だなと思いました。 ・待合スペースももっと広くしたほうが良いと思います。 ・建物にはヒビが入っているので、地震がきたら危ないと思います。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所に勤務している人はとても大変だと思いました ・もし、地震がおきたら天井がくずれたり壁がこわれると思いました。

学校	回答
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・使い慣れているなど思った。 ・たてかえ必要！ ・せいりせいとん
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・見たことと同じことを思った。（せまい、ヒビが入っているのでポロイ、汚いなど）
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・建てかえが必要だなと感じました。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・暗い感じがする。 ・整理されていない。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を効率的にできないと思う。 ・体の不自由な人に優しくない。 ・安心して仕事ができない。 ・モチベーションが上がらない。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・働きやすい環境とは言えないと思う。 ・少し雰囲気が暗くて、入りづらいし、働きにくいなど思った。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースがせまい。 ・タコ足配線が危ない（火事）。 ・無機質
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・せまい ・暗い ・なんとなく圧迫感がある。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に暗く、行きづらい。 ・駐車場がせまく、出づらい。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・暗くて気味が悪い。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・暗くて狭い ・汚い
亀山高校 (インタビュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車で行って、駐輪場がわからなかった。 ・どこに何があるかわからない。掲示板が必要。 ・廊下が狭い。車いすで通れない。 ・ロビーがまあまあ広いのに、座るところがないことがもったいない。

質問4 新しく庁舎を建てる時に何が大事だと思いますか。

学校	回答
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい雰囲気、行きやすいようにするといいと思う。 ・初めての人でもわかりやすいように気軽にこられるように
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・環境にやさしいようにする。 ・税金のむだにならないようにする。 ・誰もが使いやすい市役所にする。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が働きやすく、利用者が使いやすい環境。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・働く人、来る人、お互いが使いやすい市役所にすること。 ・休憩スペースがあつたらいいな。たとえば、地元の食材を使ったカフェでもいいかな。 ・保育所もあつてもいいと思う。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所をキレイにすることが大事だと思いました。 ・見ばえよく建てたら。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・設備がととのっていて、市民も社員さんも使いやすく、見ばえがいい市役所を建てるのが大事だと思います。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・きゅうけいできる。 ・公園がある。

学校	回答
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・体の不自由な人や、にんぶさんとか、どんな人でも使いやすいように、使う人のことを考えることが大事だと思います。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なことに配慮されている市役所 ・キッズルームがあったり、その中に保育所などが1つでもあれば、働く人も来る人も便利だと思います。 ・学生が行くなら、勉強スペースが広いと助かるなど感じます。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・展望スペースや休憩スペースなど、どの年齢でも気軽にこられるようなスペース。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・明るいイメージ、使いやすさ。 ・気軽に行けるフンイキ ・働きやすさ ・行きたいと思えるような目的を作る。 ・デザイン性
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・利用しやすい、明るい、行きやすい。 ・「Welcome」という雰囲気が大事だと思う。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事のしやすさ ・明るい ・緑があり、楽しそう。 ・車いすが通ることができるスペースをとる。 ・全体的に親しみやすさがほしいと思います。緑が多く取り入れた市役所、ユニバーサルデザイン（バリアフリー）をもっと取り入れたらいいと思います。 ・展示する部屋を作った方がいいと思います。 ・明るくだけでも入れるようにしたらいいと思います。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなが身近に感じられる。 ・きれい ・環境にやさしい ・市民のいこいの場になる。 ・明るい色を使う。 ・バリアフリー ・全体に見わたせる。 ・収納スペースをたくさん作る。 ・アクセスしやすい、行きたいと思える。 ・市民が交流できる。 ・亀山市の物や特徴を取り入れる。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすの人なども来やすいようにバリアフリーにする。 ・災害がきてもくずれず、そのときの拠点になる。 ・市民がくつろげるスペースを作る。 ・開放感のある空間
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーにする。 ・行きやすい ・広く、明るくする。 ・Welcome 感を出す。 ・関中のようなきれいな建物
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・使い勝手、入りやすさ（明るい感じ）。 ・全体的に明るくてきれい。 ・今の亀山には本屋がないから作る。 ・使いやすいトイレ（明るい、洋式（？）など）

学校	回答
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人々がおとずれやすいみため、ふんいきにする。お客さんが来やすい見ためや、対応をする。 ・明るいふんいきにする。 ・仕事のやりやすいようにする。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを取り入れる。駐車場にゆとりをもつところ。明るいふんいき。 ・バリアフリーにすることが大切。明るくてあたたかみがある→木造建築→亀山の木を使って。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・水につからない。 ・暗い印象をなくす。 ・通路を車イスが通れる広さにする。 ・働きやすい ・使いやすい
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・キレイ、使いやすい、働きやすいが一番大事だと思います。 ・市民皆が使う場所なのでキレイなのと使いやすいのは一番で、利用者側だけではなく経営者側も働きやすい場所だと一番良いと思います。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・今の駐車場の車間距離がすごくせまく駐車しにくいので、駐車しやすいように、駐車場をもう少し広くできたらしてほしいと思う。 ・市役所は固いイメージがあるから、もっと若い人にも来てもらえるような建物にしてほしい。 ・人が集まれる場所を近くに建てることで仕事場と分ける。 ・分かりやすい配置の作りがいい。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地震面で安全 ・バリアフリーせっち ・まちあい室を広くする。 ・物がしゅうのうできるスペースをつくる。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い ・待ち合いスペースなど
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー対応のものを増やす。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・広々とした建物にしたらいいと思います。 ・市役所にきた人々が快適と思えるような建物を建てたらいいと思います。 ・今は3階建てだけど新しくできる市役所はもう少し高く建てたらいいと思います。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・地震に強く、部屋、通路を広くする。 ・駐車場を広くし、待合スペースも広くする。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をする人も仕事ができやすいように広くする。 ・来る人もどこでなにをするのか分かりやすいようにする。 ・とだな、せいりするもの
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・見た目がきれい。 ・一部屋を大きくする。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎で働く人や、庁舎に来る人たちが使いやすいような庁舎にする。(ユニバーサルデザインを考えた造りにしてほしいです。)
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・空間が広い →窓 ・明るい ・バリアフリー

学校	回答
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 沢山の人々が訪問しやすいようにする事 ・ 待合はもっと広く。 ・ 駐車スペース ・ バリアフリー・ユニバーサルデザインをもっとつける。 ・ 冷暖房管理の徹底
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリーや若い人も入りやすいように色んな施設や明るい雰囲気ができるように、吹き抜けや大きい窓をつくることのできたらいいと思った。 ・ 家族で来やすいとか。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー ・ キッズスペース ・ 明るい雰囲気作り
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 天井を高くする等、開放感をだす。 ・ エレベーター・スロープをつくる。バリアフリー
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティ対策（情報）
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー。 ・ 電気を明るくして、雰囲気を明るく。 ・ 出口や入口を大きくする。 ・ トイレをきれいにする。
亀山高校	<ul style="list-style-type: none"> ・ バリアフリー ・ 飲食店をつくる。 ・ トイレをきれいに。
亀山高校 (インタビュー)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暇つぶしができるところ ・ アイスクリームが食べられる。 ・ 友達と会話ができる、電車の待ち時間に利用できるなど、フリースペースがある。 ・ トイレがきれい。 ・ 飲食店がある。 ・ 待合スペースとして活用できる。 ・ 若者用のスペース ・ 明るく、色が格好良く、統一感のある建物 ・ 子供専用の椅子 ・ 畳を使う（アレルギーが少ない）。 ・ エスカレーターがついている。 ・ ピアノが置いてある。 ・ 屋上に夜景スポットがある。

質問5 どんなところに建てるのがよいと思いますか。

学校	回答
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ お年よりや体が不自由な人でも行けるように、バス停の近くや駅の近く。 ・ レストランとかの近く。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道一号線からのアクセスがいいところ ・ 加太・井田川からも遠くないところ ・ 駐車場がしっかりとれるところ
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今と同じ場所 ・ 駐車場を広くとれるところ
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地すべり、浸水がないところ ・ 交差点の近くは× ・ バス停が近くにある

学校	回答
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人通りが多いところ ・広い、高い場所
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・広い場所
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・広くて、近くに歩道がある場所
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・車だけでなく、電車やバスでも行けるように、駅の近くやバス停の近くがいいと思います。 ・車でももっと行きやすいように、広い道の近くとかがいいと思います。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・広くて、学校、駅から近いところ。バスが通る所が一番良いけれど、あまり多く走らないので、できればついでによっていける市役所。 ・関と亀山の所を会わせるなら、その間くらいにしてもらいたい。
亀山中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人やお年寄りにとっても、待ち合わせ場所になるようなところで、交通の便がいいところ。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・いろんな人が来やすい場所 ・駅前、市の他の施設の近く
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山市の中心、見とおしのよいところ ・どこに市役所があるかが分かる場所（見えやすい場所） ・階段や坂道がないところ。市の中心部、行きやすい場所
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・行きやすいところ ・見えやすいところ ・分かりやすいところに建てると良いと思います。 ・駐車場をたくさんとるために広いところに建てた方がいいと思います。 ・市役所の場所を表す看板が必要だと思います。 ・見つけやすいところがいいと思います。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・駅近、アクセスしやすい。 ・駐車場が多い。 ・今の所でお城などと連けいする。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・亀山駅の近く。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・お年寄りも行きやすいところ、駅の近く。
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・今と同じ場所か広いスペースが取れる所 ・徒歩で買い物（スーパーなど）に行ければついでにも行けそう→スーパーやお店の近くなど？
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・人の目につきやすいところ ・分かりやすい場所 ・広いところ ・行きやすいところ
関中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部、わかりやすいところ ・市の中心で行きやすいところ ・土地が広く駐車場がとれるところ
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い ・地震が来た時に困らない所 ・高いところ
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所を建ててもそれなりに広さに余裕がある場所がいいと思います。例えば、そこに広い駐車場を作ったり、公園なども小さくてもあれば市役所に行きやすいと思います。 ・バスで行きやすいとか、周りにお店などがあればもっと行きやすいかなと思います。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を広く作れるような広い土地で、出入りしやすいような便利な場所が良いと思う。
中部中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな人が集まりやすいように、亀山の中心の場所（エコー付近） ・かくれた場所じゃなく、大どおりの場所とかがいいと思う。

学校	回答
中部中学校	・土砂崩れや水害が起こっても安全なところ
中部中学校	・市役所に来た後に、行きたいなーと興味を引く場所があるところ
中部中学校	・人々が行きやすいところに建てたらいいと思います。 ・亀山駅近くに建てるのが一番いいと思います。亀山駅近くはたくさん人が集まるのでそこが一番いいと思いました。
中部中学校	・土地が広く、車が入りやすく、出やすいところ
中部中学校	・バス停の近く
中部中学校	・人が集まりそうなところ
中部中学校	・交通の便がいい所
亀山高校	・亀山市の真ん中くらい
亀山高校	・市の中心周辺 ・静かで落ち着いたところ（工場などがない） ・災害時に避難できる場所
亀山高校	・みんなが行きやすいところ ・公共交通機関がとおっているところ ・水害がないところ
亀山高校	・栄えている所
亀山高校	・バスがある ・行きやすい
亀山高校	・夢のある所。
亀山高校	・駐車場が広くとれるところ
亀山高校	・広い所。 ・駅の近く
亀山高校 (インタビュー)	<p>【説明がしやすく、わかりやすい場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内看板を出す。 ・亀山高校の前 ・静かで環境のよいところ ・鈴鹿川が氾濫しても水につからないところ ・商業施設、飲食店の隣 ・崖崩れがないところ ・駅前で図書館と一体で整備する。 ・他の目的でも行くようなところ ・高層になると日照権の問題が生じるので、周りに民家がないところ ・図書館の跡地 ・道路が広く、どこからでも入りやすいところ

亀山市新庁舎整備基本計画策定に関するコラボレーションプログラム報告書

三重県亀山市総合政策部財務課

〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地

TEL : 0595-84-5025

FAX : 0595-82-9955

URL : <https://www.city.kameyama.mie.jp/>